

厚木市図書館基本構想

平成 29 年 4 月

厚木市教育委員会

はじめに

近年、市民の皆様を取り巻く社会情勢や生活環境は、少子・高齢社会の到来、人口の減少や高度情報化社会の進展など、急激に大きな変容を続け、日常生活にも大きな影響を及ぼしております。こうした変化に対応するため、新しい知識や情報を入手し、学び、活用する必要が生じ、生涯にわたる学びを支える「知の拠点」としての図書館機能の充実がより一層求められています。

本来、図書館とは、「図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設」（図書館法第2条）とされ、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（平成24年12月19日文部科学省告示第172号）では、自治体が設置する公立図書館においては、更に、地域の課題に対応したサービスの実施や多様な利用者に対応したサービスの充実に努めるものとされています。

図書館は誰もが利用できる施設であり、乳幼児から高齢者まで幅広い世代に利用されています。人と本、人と情報が出会うだけでなく、集う人と人がつながり、新たな交流が生まれる場所として、将来にわたり市民の皆様にあわれ、利用される図書館づくりを目指し、その羅針盤となる「厚木市図書館基本構想」を策定いたしました。

この基本構想におきまして、「市民の学び、成長、楽しみに役立つ情報拠点」を基本理念として、「知、発見、豊かさ、実り、歴史、出会い」という6つの基本方針のもと、図書館機能と（仮称）こども未来館機能を融合させ、未来につながる図書館サービスを展開していくことといたしました。

今後、市民の皆様とともに新たな図書館を創り上げてまいりたいと考えます。

厚木市教育委員会

【目次】

第1章 図書館基本構想策定の背景と目的	1
1.1. 背景	1
1.2. 目的	1
第2章 厚木市立図書館を取り巻く状況の整理	2
2.1. 厚木市立図書館の現状	2
2.1.1. 市内全域できめ細かなサービスを展開	2
2.1.2. 駅前に立地する中央図書館	2
2.1.3. オンライン・ネットワークで結ばれている公民館図書室	4
2.1.4. 開館日・開館時間帯	5
2.1.5. サービス内容	5
2.1.6. 利用状況	7
2.2. 市民ニーズの把握・分析	9
2.2.1. 市民アンケート	9
2.2.2. 市民ワークショップ	15
2.3. 未来につながるネクスト厚木ライブラリー	16
2.3.1. 資料の充実、市民ニーズの多様化・情報化への対応	16
2.3.2. 発見や出会い、居場所の創出	17
2.3.3. 施設の機能アップ	17
第3章 厚木市立図書館の基本理念と基本方針	19
3.1. 厚木市立図書館の基本理念	19
3.2. 厚木市立図書館の基本方針	20
第4章 サービス計画	22
4.1. 全域サービス網の基本的考え方	22
4.2. 各サービス主体の位置付け	23
4.2.1. 中核としての新たな中央図書館	23
4.2.2. キーステーションとしての公民館図書室	23
4.2.3. サービスポイントとしての移動図書館	23

4.3. 新たな中央図書館が目指すもの	24
4.3.1. 基本方針に基づく6つのテーマ	25
4.3.2. (仮称)こども未来館との融合に基づくテーマ	31
4.4. 他の主体との連携	32
4.4.1. (仮称)あつぎ郷土資料館との連携	32
4.4.2. 学校との連携	32
4.4.3. 子どもに関わる施設との連携	32
4.4.4. 市民との協働	32
第5章 新たな中央図書館の施設規模及び機能に係る事項	33
5.1. 新たな中央図書館の機能に係る事項	33
5.1.1. 新たな中央図書館に必要な主なエリア	33
5.1.2. 新たな中央図書館に必要なエリア一覧	34
5.2. 新たな中央図書館の施設規模及び配置について	35

< 資料編 >

1 平成27年度厚木市立図書館事業概要	1
2 市民アンケート調査結果・調査票	8
3 市民ワークショップ結果	32
4 参考事例集	37

第1章 図書館基本構想策定の背景と目的

1.1. 背景

本市の図書館は、本厚木駅前の中央図書館を中心に、中央図書館とオンライン・ネットワークを結んだ9つの公民館図書室及び移動図書館「わかあゆ号」で図書館サービス網を構成しています。

さらに、予約した図書・雑誌・CD等を5つの公民館事務室や愛甲石田駅連絡所で受け取ることのできる予約資料搬送サービスがあり、障がいのある利用者への郵送サービスを加えて、本市全域を対象とした図書館サービスを展開しています。

なお、本市図書館サービスの中核を担う中央図書館は、厚木シティプラザ内に昭和60年2月に開館し、本厚木駅前という立地条件に恵まれ、多くの市民に利用されています。

しかしながら開館から30年が経過し、多様化する市民ニーズへの対応や蔵書スペースの狭あい化、閲覧席の不足等が課題となっており、平成26年12月に策定した「中町第2-2地区周辺整備事業整備方針」において、6つの整備方針の1つとして中央図書館及び(仮称)こども未来館を核とした複合施設の新設を掲げました。

「中町第2-2地区周辺整備事業整備方針」では、みんなが気軽に立ち寄り、充実した時間を過ごすことのできる空間づくりの実現に向け、家と職場・学校との間の第3の場所「サードプレイス」をコンセプトとし、厚木バスセンターの改修による交通結節点の機能向上や広場の充実等、街なか拠点形成に向けた整備を進めることとしています。

1.2. 目的

生涯にわたる学びを支える「知の拠点」としての図書館の役割の充実を図るとともに、多様な市民ニーズを把握し、対応する新たな機能の導入に努め、人と本との出会いに加えて、必要とする情報を得ることができる場所となり、人が集い、人と人がつながり、新たな交流が生まれる場所として、将来にわたり市民に愛され利用される図書館づくりを目指し、その羅針盤となる図書館基本構想(以下、「基本構想」とします。)を策定します。

第2章 厚木市立図書館を取り巻く状況の整理

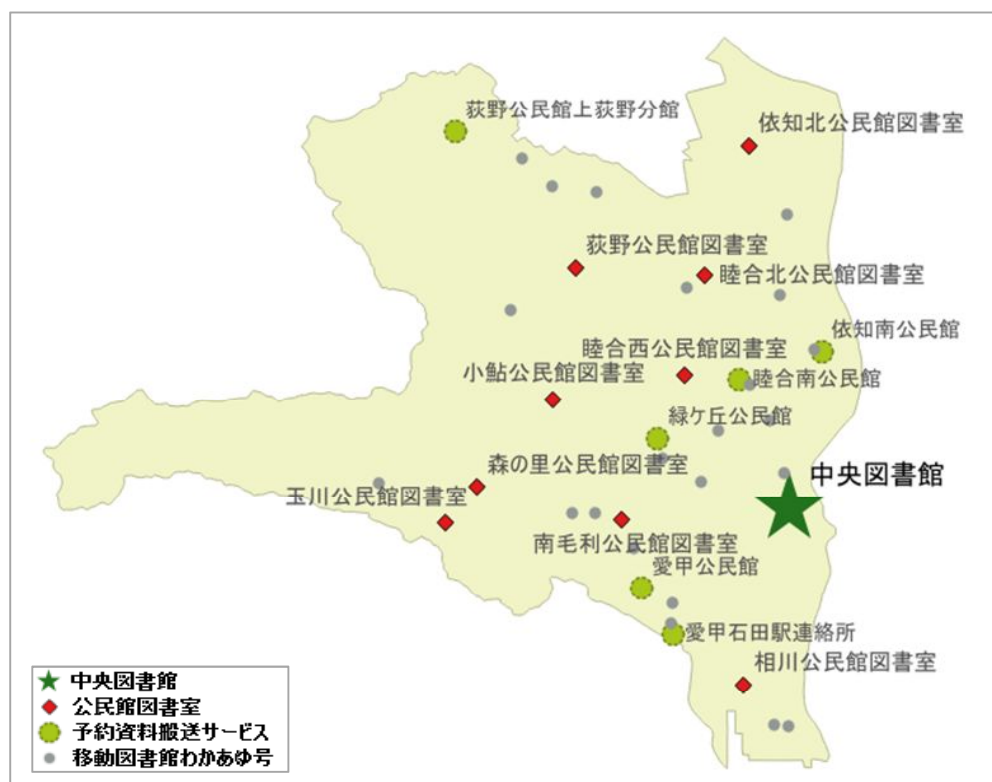
2.1. 厚木市立図書館の現状

2.1.1. 市内全域できめ細かなサービスを展開

本市には、中核機能を担う中央図書館のほか、中央図書館とオンライン・ネットワークで結ばれ一体となったサービスを実施し、地域のキーステーションとしての役割を担う公民館図書室が9室あります。

さらに、移動図書館「わかあゆ号」が市内22箇所を巡回し、5公民館事務室と愛甲石田駅連絡所では予約資料の受取と返却が可能な予約資料搬送サービスを実施することで、市内全域で、きめ細かなサービスを展開しています。

図 1 全域サービスの実施状況



2.1.2. 駅前に立地する中央図書館

現在の中央図書館は、1日平均乗降客数が15万人の小田急線本厚木駅東口から徒歩1分、厚木バスセンターに隣接する厚木シティプラザ内に昭和60年に開館しました。

当初は、貸出を中心として2階・3階を開架フロアとしていましたが、平成9年に「調べもののフロア」を地下1階に増床しています。

施設概要は表 1のとおりです。



表 1 中央図書館の施設概要(平成 28 年度)

項目	内容
設置場所	厚木市中町1丁目1番3号 厚木シティプラザ内(地下1階～4階)
開館年月日	昭和 60 年 2 月 1 日
延床面積	4,738.91 m ² (中央図書館専用部分)
蔵書冊数(開架冊数)	約 635 千冊(約 237 千冊)
閲覧席数	121 席
施設内容	地階 調べもののフロア(1,212.35 m ²) 1階 玄関ホール(52.03 m ²) 移動図書館専用車庫(61.19 m ²) 2階 おとなの本のフロア(1,109.46 m ²) 3階 こどもの本のフロア(428.82 m ²) 視聴覚コーナー(276.05 m ²) 視聴覚ホール(154.08 m ²) 4階 事務室(185.54 m ²) 会議室(93.73 m ²) 書庫(569.26 m ²)

中央図書館は、開館から30年が経過し、施設面では次のような課題が挙がっています。

居心地の良い空間づくり、閲覧スペースの充実

ゆったりとくつろげる空間や明るく居心地の良い空間への要望が多く寄せられており、閲覧席や学習席の拡充が求められています。

安心・安全への対応、バリアフリー化

幅広い世代に利用される施設であることから、安心・安全への対応とともに、ベビーカーや車椅子等での利用に配慮したバリアフリー化を更に進める必要があります。

ICT設備の拡充

情報化社会の進展に伴い、新たな機器やサービスに対応する環境整備が必要となっています。

2.1.3. オンライン・ネットワークで結ばれている公民館図書室
 公民館図書室の蔵書は全てが開架で、貸出を主とした施設となっています。施設概要は表 2のとおりです。

表 2 公民館図書室の施設概要(平成 28 年度)

公民館名	所在地	延床面積 (m ²)	蔵書冊数 (冊)
依知北公民館図書室	厚木市上依知 1313-1	55.25	11,872
睦合北公民館図書室	厚木市三田 2735-1	45.36	11,981
睦合西公民館図書室	厚木市及川 667	68.50	13,478
荻野公民館図書室	厚木市中荻野 594-1	72.25	14,802
小鮎公民館図書室	厚木市飯山 3526-2	55.80	12,788
玉川公民館図書室	厚木市七沢 175-6	62.84	10,723
相川公民館図書室	厚木市下津古久 703-2	39.92	7,563
森の里公民館図書室	厚木市森の里 1-31-1	83.77	13,366
南毛利公民館図書室	厚木市温水西 1-17-1	57.80	9,185

依知北公民館



睦合北公民館



睦合西公民館



荻野公民館



小鮎公民館



玉川公民館



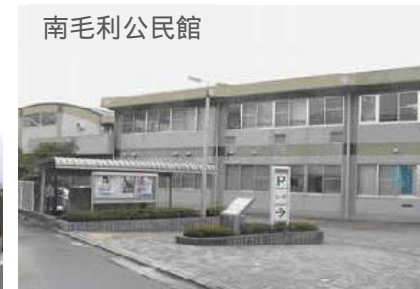
相川公民館



森の里公民館



南毛利公民館



2.1.4. 開館日・開館時間帯

中央図書館、公民館図書室の開館日数、開館時間帯は表 3のとおりです。中央図書館について、近年開館している駅近隣の公共図書館と比較すると、開館日の拡大や夜間の開館時間の延長が課題として挙げられます。

表 3 開館日・開館時間帯(平成 27 年度)

項目	中央図書館	公民館図書室
開館日数	334 日	324 日
開館時間	9:00	10:00
閉館時間	19:00	17:00
備考	3Fのみ 17:00 閉館	荻野・南毛利公民館以外は 10:00～12:30、13:30～17:00

2.1.5. サービス内容

中央図書館、公民館図書室、移動図書館において、市民の求める資料を提供するため、一体となったサービスを展開しています。

表 4 サービス内容(平成 28 年度)

サービス	概要	中央図書館	公民館図書室	移動図書館
閲覧貸出	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民ニーズや地域の特色に応じた資料を収集し、提供 			
予約 リクエスト 相互貸借	<ul style="list-style-type: none"> ● 所蔵している図書や返却待ちの図書等を希望する場所で提供 ● 未所蔵の場合は、購入又は県立図書館や他の公共図書館、市内大学図書館等から借用し、提供 ● 国立国会図書館の資料の閲覧 		-	-
レファレンス (調査・相談)	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習や調査に必要な資料や情報の入手をサポート ● 図書や文献の所在調査 ● 関係機関や専門機関への照会等 			
障がい者 サービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 視覚障がい者への対面朗読や録音・点字図書等の郵送貸出 ● 身体障がい者への図書の郵送貸出 ● 障がいのある子どもへの「布の絵本」やマルチメディアページの貸出 		-	-
視聴覚	<ul style="list-style-type: none"> ● CD、ビデオ、DVDの貸出 		-	-
団体	<ul style="list-style-type: none"> ● 小・中学校、幼稚園・保育所等への団体貸出 ● 小学生等の施設見学の受入 ● 中学生の職業体験学習の受入 			

2.1.6. 利用状況

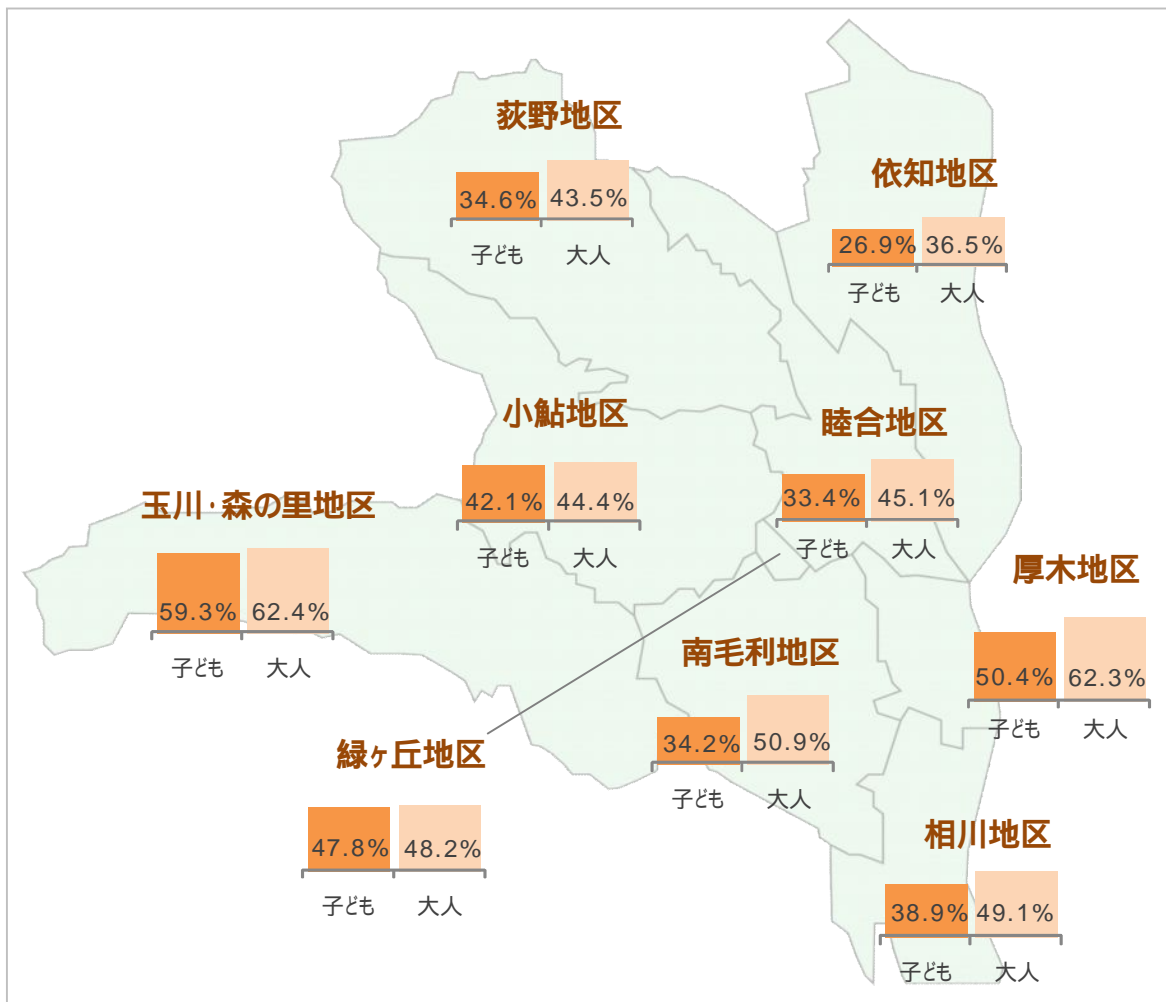
本市図書館の利用状況は次のとおりです。

(1) 登録者数

全域サービス網の展開により、市民の登録は103,965人、登録率は47.4%と市民の半数に利用されています。しかしながら、0～12歳の登録率が37.1%であることや、地区により差があることが課題となっています。

なお、中央図書館が本厚木駅及び厚木バスセンターに隣接しているため、広域利用を行っている自治体在住者の登録が25.5%と多くなっています（表5参照）。

図2 地区別・年代別登録率(平成27年度)



住民基本台帳に基づき算定

表 5 広域利用登録者(平成 27 年度)

	一般	児童	合計	登録者全体 に対する割合
相模原市	4,894	33	4,927	3.4%
秦野市	5,567	43	5,610	3.9%
大和市	1,125	11	1,136	0.8%
伊勢原市	6,663	168	6,831	4.7%
海老名市	6,923	265	7,188	4.9%
座間市	2,449	24	2,473	1.7%
綾瀬市	917	10	927	0.6%
愛川町	5,610	54	5,664	3.9%
清川村	527	8	535	0.4%
平塚市	1,801	29	1,830	1.3%
合計	36,476	645	37,121	25.5%

(2) 貸出冊数・貸出者数

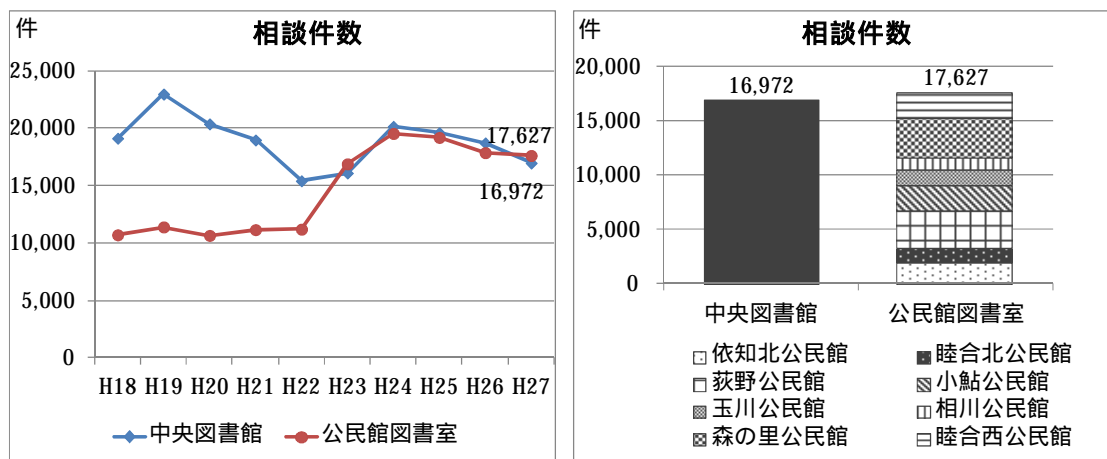
公共図書館の個人向け図書貸出数は、多くの図書館で平成22年度をピークに減少傾向にあり、本市においても、平成21年度をピークとして減少傾向となっています。

なお平成27年度の貸出者数は358,668人、貸出冊数は1,163,878冊で、市民1人当たりの貸出冊数は約5.2冊です。

(3) 相談件数

相談件数については、公民館図書室で大きく増加傾向にあります。

図 3 調査・相談(レファレンス)件数(平成 27 年度)



2.2. 市民ニーズの把握・分析

基本構想を策定するに当たり、広く市民の意見を伺うことを目的とし、市民アンケートを実施しました。1年以内の利用状況、利用されない理由、新たな中央図書館に望むこと、厚木らしい特色ある図書館はどのような図書館か、公民館図書室に望むことについて、意見を伺いました。

また、図書館のサービスや機能について集まって討議していただき、提案等を構想に盛り込むことを目的として、市民ワークショップを実施しました。

2.2.1. 市民アンケート

(1) 実施概要

市民アンケートの概要は表 6のとおりです。

表 6 実施概要

項目	内容
対象	無作為抽出した 13 歳以上の市民 2,000 人
調査方法	郵送配布・回収
調査期間	平成 28 年 7 月 30 日(土)から 8 月 19 日(金)までの 21 日間
回収数(回収率)	531 票 (26.6%)
有効回答数(有効回答率)	531 票 (100.0%)

(2) 調査結果

1) 現況

利用状況について（複数回答可）

1年以内の利用状況については、「利用したことがある」(45.8%)、「利用したことがない」(51.6%)という状況でした。なお、利用したことがある回答者の87.2%は中央図書館の利用でした。

図 4 1年以内の利用状況

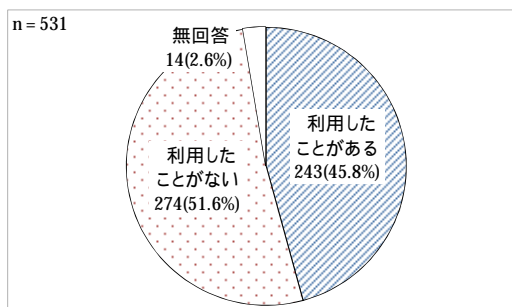
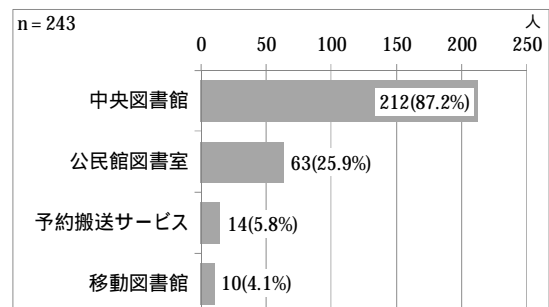


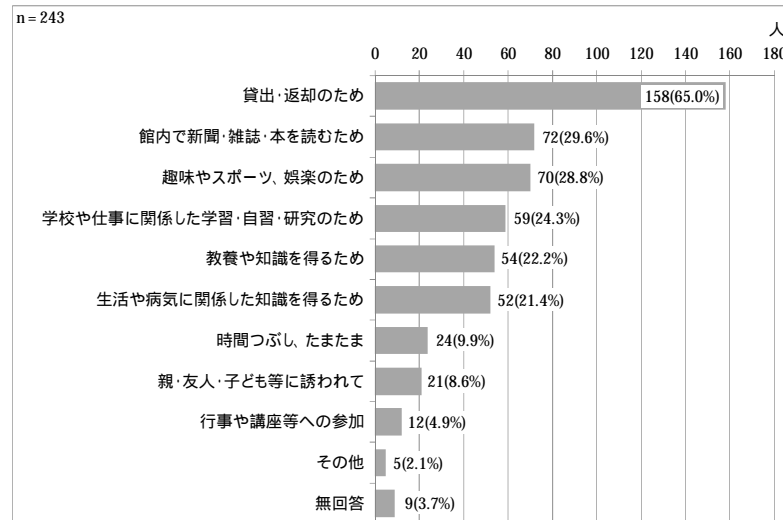
図 5 利用場所



来館目的について（複数回答可）

来館目的としては「貸出・返却のため」（65.0%）が最も多くなっており、次いで、「館内で新聞・雑誌・本を読むため」（29.6%）が続きます。また、「趣味やスポーツ、娯楽のため」（28.8%）、「学校や仕事に関係した学習・自習・研究のため」（24.3%）と、目的を持って利用している回答者が多い状況です。

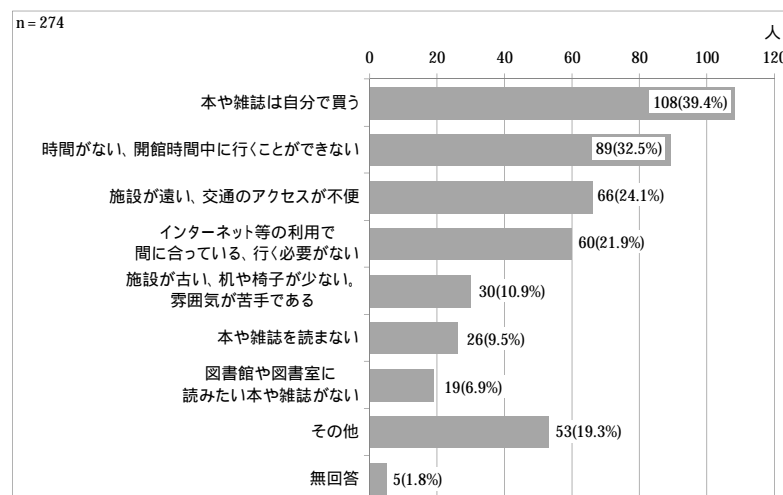
図 6 来館目的



図書館を利用しない理由について（複数回答可）

図書館を利用しない理由では、「本や雑誌は自分で買う」（39.4%）が最も多く、「本や雑誌を読まない」（9.5%）は下位となっています。なお、「インターネット等の利用で間に合っている、行く必要が無い」（21.9%）からスマートフォン等の電子機器が普及している状況がうかがえます。また「時間がない、開館時間中に行くことができない」（32.5%）という回答が30歳代から50歳代に多いことから、仕事や子育て等で利用しにくい世代への対応が課題となっています。

図 7 図書館を利用しない理由



2) 新たな中央図書館に望むこと

中央図書館を利用したい曜日と時間帯について（3つまで選択可）

中央図書館を利用したい曜日と時間帯については、土日より平日に利用したいとの回答が多く、時間帯は平日、土日ともに9時～15時を利用したいとの回答が多くなっています。なお、社会人からは平日の19時～21時に利用したいとの回答が多くありました。

表 7 中央図書館を利用したい曜日と時間帯

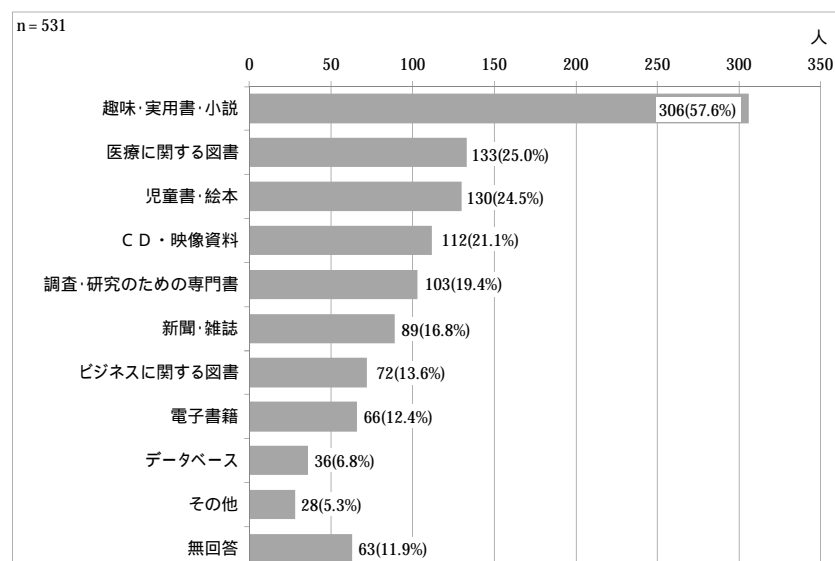
時間帯	9時 ～ 11時	11時 ～ 13時	13時 ～ 15時	15時 ～ 17時	17時 ～ 19時	19時 ～ 20時	20時 ～ 21時	回 答 者 数
平日	115 27.8%	117 28.3%	134 32.4%	87 21.1%	79 19.1%	112 27.1%	89 21.5%	413 100.0%
土日	120 33.5%	112 31.3%	153 42.7%	92 25.7%	46 12.8%	46 12.8%	44 12.3%	358 100.0%

充実する必要がある資料について（複数回答可）

充実する必要がある資料としては、「趣味・実用書・小説」(57.6%) が最も多くなっています。各年代の半数以上が選択しており、生活を彩る図書への希望が多い状況がうかがえます。次いで「医療に関する図書」(25.0%) は、特に50歳代以降の世代から要望が寄せられています。「児童書・絵本」(24.5%) は、子育て世代や60歳代の祖父母世代からの要望が多い状況となっています。なお、電子書籍(12.4%) への要望はまだ少ない状況ですが、電子機器の普及が進んでいることから、今後、注意して見守ることが必要と考えます。

また、公民館図書室についても、大人向けの本、次いで児童書と蔵書の充実への要望が多く寄せられました。

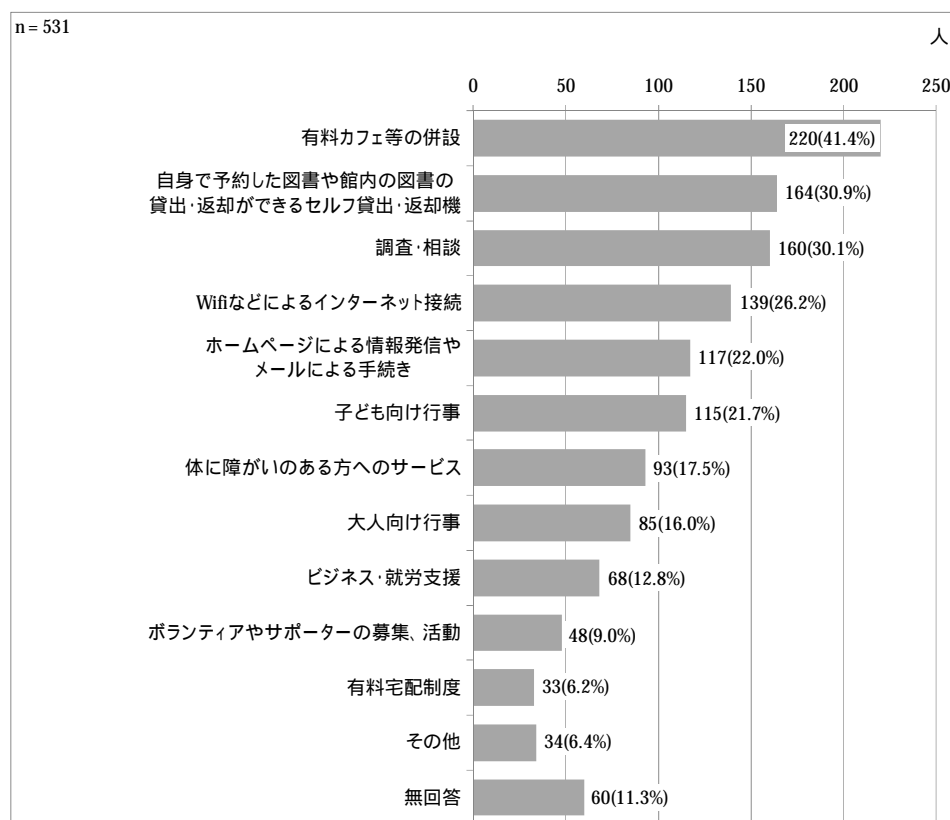
図 8 充実する必要がある資料



充実する必要があるサービスや機能について（複数回答可）

充実する必要があるサービスや機能については、「有料カフェ等の併設」が41.4%と、最も多くの要望が寄せられました。次いで「自身で予約した図書や館内の図書の貸出・返却ができるセルフ貸出・返却機」（30.9%）と「調査・相談（職員に気軽に調べたいことについて相談し、情報や資料を得ることができる）」（30.1%）に、それぞれ30%以上の要望がありました。セルフ貸出・返却の要望は全ての年代から、職員対応の調査・相談については、40歳代以降の世代からの要望が多いものの全ての世代から出されており、職員に相談できる環境へのニーズが高まっていることが推測されます。貸出・返却処理の自動化とともに、調査・相談や児童サービス等において、経験を積み高度の技術をもっている専門家による質の高いサービスが求められています。さらに、「Wifiなどによるインターネット接続」（26.2%）、「ホームページによる情報発信やメールによる手続き（リクエストや調査依頼）」（22.0%）が続いており、情報通信技術の普及や多様化への対応が求められています。

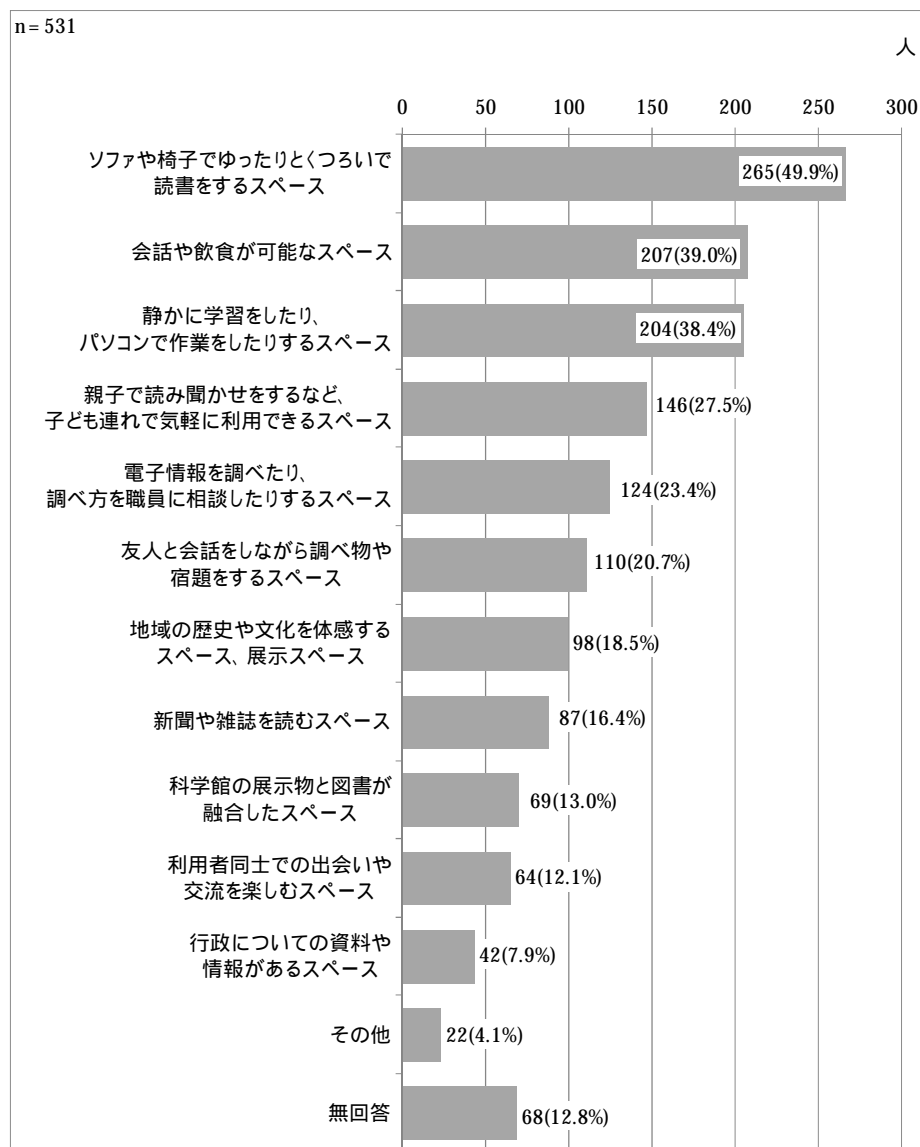
図 9 充実する必要があるサービスや機能



充実する必要があるスペースについて（複数回答可）

充実する必要があるスペースについては、「ソファや椅子でゆったりとくつろいで読書をするスペース」（49.9%）が圧倒的に多く、閲覧席の充実が求められています。次いで「会話や飲食が可能なスペース」（39.0%）や「静かに学習をしたり、パソコンで作業をしたりするスペース」（38.4%）への要望が等しく寄せられました。「集い」や「交流」といった新たな要素とともに、一人で学習する環境の整備への期待も高まっており、館内環境、特に音について、相反する環境整備が求められている状況です。

図 10 充実する必要があるスペース



3) 「厚木らしい特色」ある図書館（自由回答）

「厚木らしい特色」ある図書館とは、どのような図書館とお考えになりますか？と質問し、自由記入により回答していただきました。本市について、自然豊かで都会にも近く、道路・鉄道と交通アクセスの良い立地であるという回答が多く見られました。図書館については、郷土資料の充実や本市の自然や歴史を展示するコーナー等の提案のほかは、多くが図書館の施設やサービスに関するものでした。

特に子ども連れの利用についての提案が多く、「親子に優しい図書館」「靴を脱いで座れる、寝転がって本を読めるスペース」「遊びを通して本に触れ合えるようなスペース、コミュニケーションを楽しみながら本に触れ合えるようなスペース」といった要望や「図書館というと静かだというイメージが今まで強いので子どもがいる私にとってはちょっと行き辛い空間。静かな空間と話しをしながらでも楽しめる空間に区分けされたメリハリのある施設が良い。」との意見がありました。

なお、図書館の雰囲気については、「明るく」が最も多く、「きれい」「おしゃれ」「ゆっくり」「ゆったり」等の言葉も多く書かれていました。

「入館しやすい雰囲気（誰でも気軽に立ち寄れる感じ）」「読書が苦手な人でも入りたくなるような、本を借りる、探す等具体的な目的がなくても入れるような雰囲気があると良いと思う。」「利用者同士の出会いや交流を楽しむスペースが必要」との意見も見られました。

また、駐車場や学習スペース、閲覧席への要望も多く挙げられました。

2.2.2. 市民ワークショップ

(1) 実施概要

市民ワークショップの概要は、表 8のとおりです。

表 8 実施概要

項目	内容								
実施日時	平成 28 年 9 月 17 日(土)13 時～15 時 30 分								
実施場所	厚木市立中央図書館 3 F 視聴覚ホール								
実施内容	1) 事例紹介(25 分)								
	2) 新たな中央図書館で展開するサービスに関するグループディスカッション(55 分)								
	<table border="1"> <tr> <td>自己紹介・役割分担</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 居住地等の自己紹介 ● 発表者の決定 </td> </tr> <tr> <td>利用主体について(10 分)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 参加者が主体について検討し、模造紙 2 枚に記入(主体の偏りがないよう、事前にシルバー世代、子どもと保護者、障がいのある人、中高生を設定) </td> </tr> <tr> <td>利用方法・形態について(20 分)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 参加者各自が、ピンクの付箋に、主体別に新たな中央図書館で何をしたいかを記入 </td> </tr> <tr> <td>必要機能について(25 分)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 参加者各自が利用方法・形態についてのアイデアの実現に必要なヒト・サービス・スペースを緑の付箋に記入 </td> </tr> </table>	自己紹介・役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ● 居住地等の自己紹介 ● 発表者の決定 	利用主体について(10 分)	<ul style="list-style-type: none"> ● 参加者が主体について検討し、模造紙 2 枚に記入(主体の偏りがないよう、事前にシルバー世代、子どもと保護者、障がいのある人、中高生を設定) 	利用方法・形態について(20 分)	<ul style="list-style-type: none"> ● 参加者各自が、ピンクの付箋に、主体別に新たな中央図書館で何をしたいかを記入 	必要機能について(25 分)	<ul style="list-style-type: none"> ● 参加者各自が利用方法・形態についてのアイデアの実現に必要なヒト・サービス・スペースを緑の付箋に記入
	自己紹介・役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ● 居住地等の自己紹介 ● 発表者の決定 							
	利用主体について(10 分)	<ul style="list-style-type: none"> ● 参加者が主体について検討し、模造紙 2 枚に記入(主体の偏りがないよう、事前にシルバー世代、子どもと保護者、障がいのある人、中高生を設定) 							
利用方法・形態について(20 分)	<ul style="list-style-type: none"> ● 参加者各自が、ピンクの付箋に、主体別に新たな中央図書館で何をしたいかを記入 								
必要機能について(25 分)	<ul style="list-style-type: none"> ● 参加者各自が利用方法・形態についてのアイデアの実現に必要なヒト・サービス・スペースを緑の付箋に記入 								
3) 発表									
4) ふりかえり・まとめ									
参加者	厚木市在住・在勤・在学の 21 人								

(2) 結果概要

利用主体(想定される利用者)については、「本を読まない人」「人と交流したい人」といった従来は図書館利用者として想定されていなかった人も、利用者として提案されました。利用方法やサービスについても「おとなしくできない幼児たちものびのびと絵本などを楽しめる」「小学生が子ども同士で気軽に集いたい」「中学生・高校生の居場所が欲しい」「くつろぎたい、癒されたい」といった利用形態についての意見や「アクティブシニアの学びたいというニーズに応えられる人」「ボランティア向けの相談役の配置」といった人員の配置について、障がい者への配慮や通勤者への対応等、様々な意見が出されました。

2.3. 未来につながるネクスト厚木ライブラリー

2.3.1. 資料の充実、市民ニーズの多様化・情報化への対応

(1) さらなる資料の充実

本市の市民1人あたり蔵書冊数は3.40冊です。これは人口が20万人以上30万人未満の自治体において上位の状況です。

しかし、市民アンケートでは、趣味・実用書・小説をはじめとした図書の充実のほか、視聴覚資料、新聞・雑誌、電子書籍等、多種多様な資料に対するニーズが多く寄せられており、さらなる所蔵資料の充実が求められています。

表 9 人口同規模市の市民1人あたり蔵書冊数上位(平成26年度)

市民1人あたり蔵書冊数		自治体名	人口(人)	蔵書冊数(冊)	市民1人あたり蔵書冊数		自治体名	人口(人)	蔵書冊数(冊)
順位	数値(冊)				順位	数値(冊)			
1	5.90	調布市	223,691	1,320,145	6	4.14	富士市	258,873	1,071,501
2	5.60	府中市	253,288	1,417,370	7	3.72	津市	285,654	1,062,259
3	4.77	松本市	243,271	1,160,381	8	3.41	水戸市	273,053	931,415
4	4.33	茨木市	277,689	1,202,849	9	3.40	厚木市	225,229	765,047
5	4.31	福井市	267,978	1,155,316	10	3.33	平塚市	259,171	862,509

出典)『日本の図書館 2015』

(2) 紙と電子媒体とを組み合わせたハイブリッド化

平成22年が電子書籍元年と言われており、現代社会における資料や情報の電子化は今後も進展していくものと考えられます。そのため、図書館資料についても紙と電子書籍とを効率的に組み合わせ、利用者の読書環境に応じた資料の提供を行うことが必要となります。

(3) 暮らしや仕事の情報提供

市民の労働状況やライフスタイルが変化する中で、市民ニーズも多様化してきています。

そのため、医療・健康の情報や暮らしに関わる法律・子育て・福祉等の情報、ビジネス・資格・スキルアップに関すること等、市民の個々が抱える課題の解決に役立つ資料や情報の提供が求められています。

(4) 利用者の年代・特性に応じたサービス

市民の生涯学習ニーズの多様化に伴い、学習、調査、研究に活かせる専門書の充実や専門的なレファレンスサービスの展開等が望まれています。

市民アンケートでは、レファレンスサービスについてのニーズが顕著に表れており、必要な情報収集の方法を職員に気軽に相談できる環境を強化する必要があります。

また、潜在的利用者層の利用の拡大に向けて、例えば、10代から20代の世代や子育て世代の利用を促進する試みが必要となっています。

2.3.2. 発見や出会い、居場所の創出

(1) (仮称)こども未来館との融合

新たな中央図書館の整備を予定している複合施設には、(仮称)こども未来館の整備も予定しています。これまでの連携の実績をもとに、各々の特性を活かして、子どもの好奇心を刺激し、不思議と出会う驚き、わかる喜びを倍増させ、最大の相乗効果を得るように取り組むことが必要です。

(2) 通勤・通学者のサードプレイス

新たな中央図書館は、現在の中央図書館と同様に、本厚木駅や厚木バスセンターに近接して整備する予定であり、引き続き通勤・通学者層や買い物客による利用が多くなるものと考えられます。

市民アンケートにおいても、平日の夜間開館拡大への要望が多数寄せられており、利用者層に配慮した利便性の高いサービスの展開が必要です。

(3) アミューあつぎなどの公共施設との連携

中央図書館周辺の公共施設の立地状況について見ると、官民複合施設であるアミューあつぎ内には「あつぎ市民交流プラザ」や「子育て支援センター」があり、文化・芸術・生涯学習等に関する活動スペースの提供や子育て家庭の交流の場となっています。

また、厚木市保健センターや総合福祉センターも隣接して立地しています。

こうしたことから、新たな中央図書館は、これらの公共施設との役割分担を明確化するとともに、相互に連携して中心市街地の活性化に資するサービスを展開し、中心市街地における人の回遊を促すことが必要と考えます。

2.3.3. 施設の機能アップ

(1) 快適な読書スペース、滞在型図書館へ

現在の中央図書館は、貸出・返却を目的とした利用が大部分となっている一方で、ソファや椅子でゆったりとくつろいで読書をしたいというような市民ニーズが多く存在しています。そのため、読書や学習に快適な空間づくりを行い、多様な閲覧スペースを確保していくことが必要となっています。

(2) 多世代のくつろぎ・交流スペース

市民の価値観やライフスタイルが多様化し、図書館に求められる事柄も変化してきました。図書館本来の目的である資料や情報の提供、読書や学習の他に、誰でも気軽に立ち寄り、利用者同士が出会い、相互に交流することが望まれています。こうしたことから、「くつろぎ」や「交流」といった新たな要素の導入が必要となっています。

(3) ICT 設備の拡充

情報化社会の進展に伴い、図書館における読書環境や学習環境も変化してい

くことが求められています。市民アンケートにおいても、セルフ貸出・返却機やWifi等によるインターネット接続が幅広い年代に要望されており、ICタグや自動貸出システム、公衆無線LAN、電子閲覧端末といったICT(コンピュータやネットワークに関連する技術・産業・設備・サービス)の導入が必要となっています。

(4) ユニバーサルデザインへの配慮

子どもから高齢者まで、幅広い世代の利用者が利用する施設であることから、年齢、言語、障がいの有無等にかかわらず、安心・安全に利用できる施設・設備の整備が不可欠であり、ユニバーサルデザインへの配慮が必要となっています。

(5) 中核機能の拡充

中央図書館には、全域サービス網の中核機能を担うことが求められています。具体的には、次の事項について図書館サービス網の中心となり、リードしていくことが求められています。

市内図書館サービスにおける業務水準の維持向上

中央図書館のバックアップにより、公民館図書室や移動図書館における資料提供や蔵書の更新等、サービス水準を向上し、市内全域で均一なサービスを提供することが求められています。

学校等の子どもに関わる施設や郷土資料館等の公共施設との連携

子育て支援センターや児童館等の公共施設や保育所・幼稚園、小・中学校、高校、大学等と連携して、読書活動を推進することが必要です。郷土資料館や子ども科学館等の公共施設との連携も欠かせません。

資料の保存や物流の拠点

図書・雑誌・新聞等の保存拠点として、また、神奈川県立図書館や他市町村立図書館等との相互貸借や公民館図書室等への搬送拠点としての役割が求められています。

市民との協働

読書に関わるボランティアの育成及び支援に加えて、市民協働による新たなサービスへの取組が求められています。

第3章 厚木市立図書館の基本理念と基本方針

3.1. 厚木市立図書館の基本理念

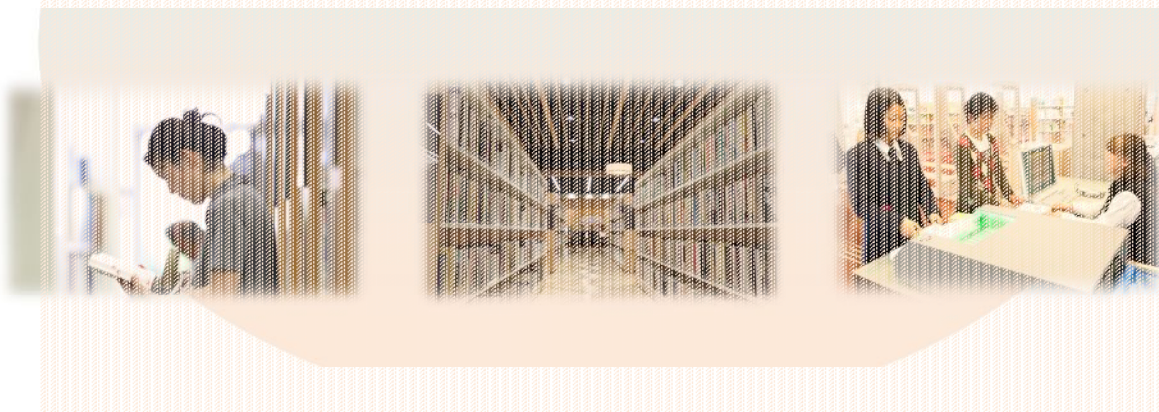
基本構想では、本市の目指す図書館像を基本理念として示し、その基本理念を実現するための6つの基本方針を策定します。

本市の図書館では、社会環境や市民ニーズの変化を踏まえ、市民が資料や情報に基づく新たな知識を得ることが出来るという図書館本来の機能に加え、時代のニーズに合った新たな機能を付加していくことが必要と考えます。

そこで、本市の図書館としては、情報が集まる場所に人が集い、人と人とが出会い、交わることで、未来の地域文化を発信していく場となる図書館を将来像とし、基本理念を次のとおりとします。

厚木市立図書館の基本理念

市民の学び、成長、楽しみに 役立つ情報拠点



3.2. 厚木市立図書館の基本方針

基本理念に掲げられた図書館像を実現するために、本市の図書館の現状と課題を踏まえて、6つの基本方針を策定します。

基本方針 1

知

市民の生涯にわたる自主的な学習を支える図書館

各分野における基礎的な資料を収集するとともに、他の図書館や行政関連部局等と連携して、必要とされる資料や情報の提供に努めます。

また、市民に学習のための手段と場所を提供します。



基本方針 2

発見

市民の仕事や生活に関わる

様々な課題の解決に役立つ図書館

調査・相談業務に関する知識や経験を備えた人材を確保し、市民一人一人の課題解決のために、必要な資料や情報の提供を行います。



基本方針 3

豊かさ

市民の知的要求や教養、レクリエーション等に役立ち、 文化的で豊かな生活を支える図書館

中央図書館や移動図書館、公民館図書室等により、市内全域に均一なサービスを提供するとともに、ホームページや図書館情報システム等を通じて、利便性を高め、利用促進を図ります。

また、知的好奇心を刺激し、豊かな発想や創造を生む多様な資料の収集に努め、出会いと発見のあるコレクションと空間を構成します。



基本方針 4

実り

子ども読書活動推進の中核となり、
家庭教育や学校教育を支援する図書館

子どもと保護者が読書に親しみ、心のやすらぎと豊かさを得ることができるよう児童サービスを充実します。

また、幼稚園や学校等の子どもが関わる施設や読書ボランティアとの連携を強化し、子ども読書活動を推進します。

さらに、10代の読書活動を支援し、読書離れを防ぎます。



基本方針 5

歴史

郷土資料や行政資料を収集・保存し、
郷土に関する情報を広く発信する図書館

本市の地域文化を継承し、さらなる発展に結び付けるため、郷土資料館や市政情報コーナー等と連携し、地域情報を収集・保存するとともに、提供・発信します。



基本方針 6

出会い

「人と本（情報）」、「人と人」が出会い、
新たな発見や交流のある図書館

幅広い年代の人々が気軽に立ち寄り、過ごすことのできる“憩いの場”を提供し、様々な知識や情報が得られ、人との出会いや交流が生まれる図書館を目指します。



第4章 サービス計画

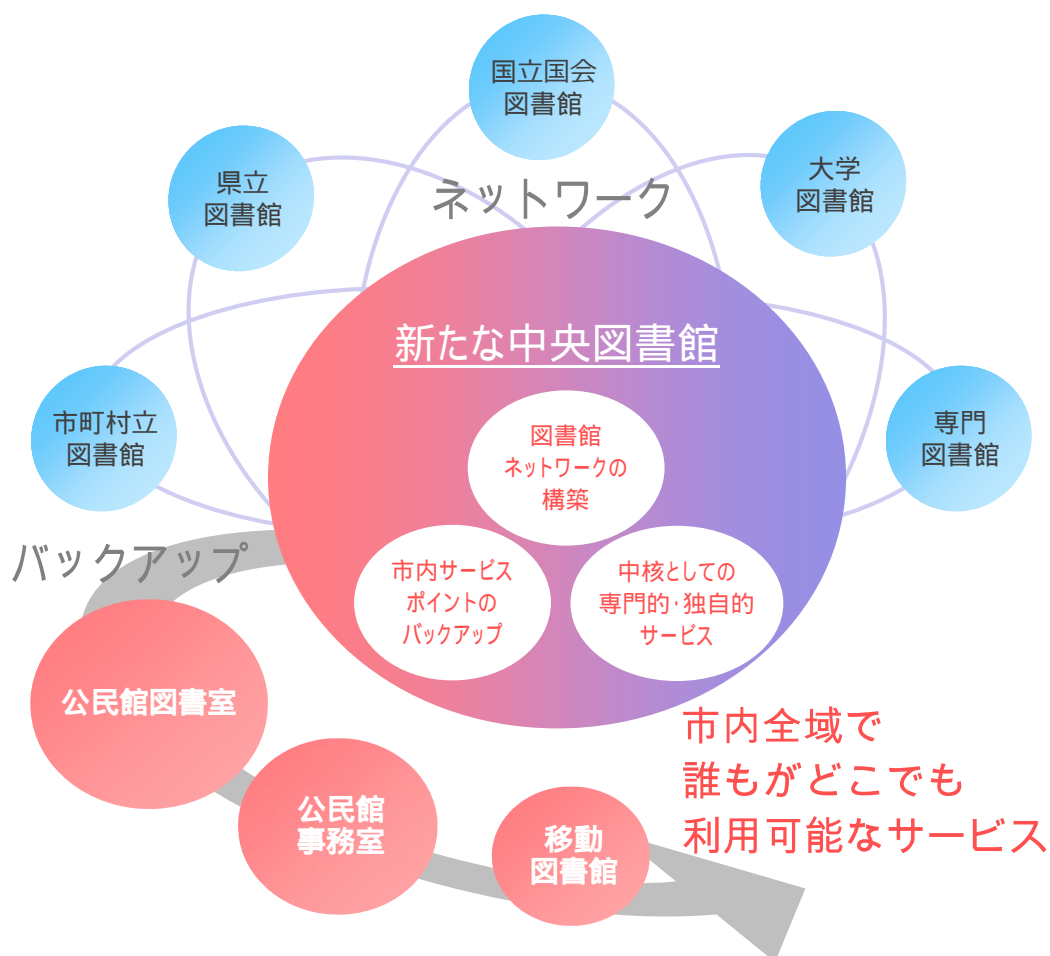
4.1. 全域サービス網の基本的考え方

本市では、新たな中央図書館を図書館サービスの中核に位置付け、地域のキーステーションとして公民館図書室を運営し、公民館事務室や愛甲石田駅連絡所と連携して図書館サービス網を構築します。

また、直接の来館が困難な利用者のために、機動性のある移動図書館を巡回してきめ細かなサービスを提供するとともに、図書館のPRを図ります。そして、公民館図書室や公民館事務室、移動図書館におけるサービス展開を新たな中央図書館がバックアップすることで、市内全域で均一なサービスを提供します。

さらに、他市町村立図書館や県立図書館、国立国会図書館、大学図書館、専門図書館等との図書館ネットワークの強化を通じて、本市の図書館サービス網を補強します。

図 11 全域サービス網イメージ



4.2. 各サービス主体の位置付け

4.2.1. 中核としての新たな中央図書館

新たな中央図書館は、全域サービス網の中核として専門性や独自性の高いサービスを実施し、高度かつ多様な利用者ニーズに対応します。

併せて、中央図書館による公民館図書室や移動図書館における資料や情報提供へのバックアップ機能を強化し、市域全体で効果的、効率的なサービスの展開を図ります。

4.2.2. キーステーションとしての公民館図書室

公民館図書室は、図書館サービスのキーステーションとして、オンライン・ネットワークで結ばれた新たな中央図書館と一体的にサービスを展開し、資料提供や調査・相談に係るサービスを強化していきます。

公民館図書室では、過去10年間の相談件数が増加傾向にあります。

なお、市民アンケートにおいて公民館図書室に望むことでは、「大人向けの本の充実、本の入替」(44.1%)が最も多く、次いで「児童書の充実、本の入替」(24.9%)を20代や30代の子育て世代から要望され、「調査・相談(職員に気軽に調べたいことについて相談し、情報や資料を得ることができる)」(20.9%)が続く結果となっています。今後は市民ニーズを踏まえた資料を充実するとともに、市民とのふれあいを大切に、気軽に相談できる環境づくりに努めます。

また、公民館図書室を窓口として、中央図書館や他市町村図書館等で所蔵している図書の提供が可能なることを周知するとともに、中央図書館のバックアップによる調査・相談に係るサービスの強化により、市民に役立つ情報が集まる地域の身近なキーステーションとしての役割を果たします。

4.2.3. サービスポイントとしての移動図書館

移動図書館は、中央図書館や公民館図書室へ来館が困難な利用者のため、より身近なサービスポイントを巡回し、全域サービスを効率的に補完します。

市域が広範にわたる本市では、交通のアクセス等を理由に施設の利用が遠ざかりがちな市民へのサービス提供が課題となっています。市民ワークショップでも来館が難しい人へのサービスとして「自宅近くまで来てくれる車(移動図書館の強化)」という意見が挙げられました。

また、市民アンケートでも「中央図書館まで行くことができなくても本に触れることができる。限られた本でもバリエーションに富んでいて、予約した本を受け取ることができるので、身近に図書館を利用

することができる。」との意見が挙げられています。

今後は、これらの市民ニーズを踏まえて、適切なサービスポイントの設置等、移動図書館の活動充実を図ります。

4.3. 新たな中央図書館が目指すもの

本市図書館の基本理念と基本方針のもと、新たな中央図書館が目指すものを次に掲げます。

新たな中央図書館では、基本方針に基づく6つのテーマと図書館サービスの中核機能の拡充や（仮称）こども未来館との融合から、未来につながる図書館としてのサービスを展開していきます。



4.3.1. 基本方針に基づく6つのテーマ

基本方針1 知

知識や情報にたっぷり触れる

誰もが利用しやすく快適な環境を整備し、多様な市民の「読んでみたい」にぴたっとハマる資料を提供します。

また、ふだんあまり手にとることのない意外な資料や本との出会いをエスコートし、市民一人一人の学習意欲を喚起します。

紙の本から電子まで、共に利用可能なハイブリッド図書館

情報化社会や生涯学習社会の到来に対応し、関連機関とのネットワークを活かしつつ、紙の本から電子資料まで多様かつ豊富な資料を収集し、提供します。



読書の楽しみとの巡り合い

司書による世代や興味に応じたオススメの図書の案内や季節や特定のテーマに沿った図書の展示、一人一人との対話を通じて、最適な本を提供し、読書の楽しさを伝えます。



市民ニーズへの的確な対応

社会状況や生活サイクル等に伴う市民ニーズの多様化やICT技術の進展などに柔軟に対応して、読書環境を整備します。

すべての市民への配慮

すべての市民の学習活動を支援するため、バリアフリーに配慮し、利用対象に応じたきめ細かなサービスを展開します。障がいのある方の読書をサポートします。

新たな取組や特色あるサービス

- 印刷資料と電子資料が共に利用可能なハイブリッド図書館
- 読書コンシェルジュや特集展示などによる読書案内
- 障がいのある方の読書をサポート

求める答えがすっと見つかる

市民一人一人の頭脳として、仕事や生活での「なぜ？」や「もっと知りたい」に対応し、解決策の発見をアシストします。

また、市民との気軽なコミュニケーションを通じて、それぞれが求める資料や情報を的確に提供します。

日常の課題の解決

社会情勢の変化や新たな地域課題の顕在化に伴う市民ニーズの多様化、高度化に対応し、仕事や法律、子育てや健康などのちょっとした悩みを解決するための資料や情報を利用者の年代や特性に応じて整理し、わかりやすく提供します。



親しみやすいレファレンス

専門の司書による調査・相談(レファレンス)について、積極的に周知することで、知りたいことや調べたいことのある市民が「図書館で聞いてみよう」と思えるような仕組みを整えます。



自身で探し出す仕組み

知りたいことがあるが調べ方がわからないという市民のために、効率的な図書館利用方法や資料検索方法を発信したり、インターネットでの情報検索が可能な ICT 機器などを充実したりすることで、市民が自分自身で資料や情報へたどり着くことを支援します。



新たな取組や特色あるサービス

- 調査・相談(レファレンス)サービスの強化
 - 調査・相談エリアの設置
 - 調べやすい環境づくりと最適な資料の提供
- パスファインダー(特定のテーマに関する文献や情報の探し方の案内)の作成
- 電子情報コーナー

基本方針3
豊かさ

人生をわくわく奏でる

子どもから大人まですべての市民に対して、こころを豊かにするための学び、文化や生涯学習との出会いを提供します。

また、豊かな発想や新たな価値の創造を誘発するためのわくわくを提供します。

本や読書の魅力の伝達

市民の一人一人が創造的で生きがいのある毎日を送るための読書の役割を重視し、それぞれの魅力を掘り下げた行事や展示など多彩なメニューを提供します。

新たな世界への導き

市民が様々な考えと出会ったり新たな発想をしたりすることを支援するためのコーナーの設置や配架の工夫を通じて、市民の知的好奇心を触発し、新たな世界へ飛び込むきっかけを提供します。



快適性の確保

ゆったりとした閲覧スペースを確保し、快適性の高い読書環境を提供します。

新たな取組や特色あるサービス

- 書架配置の工夫、関連図書への誘導
- 企画展示、トピックコーナー
- 手に取りやすく表紙を見せる書架
- ゆったりとした閲覧スペース

基本方針 4

実り

心がいきいき育つ

赤ちゃんから中高生まで、子どもが自ら「本を選ぶ楽しさ」、「新たなことを知るよろこび」、「人に伝えるうれしさ」を得ることの出来る居場所を提供します。

また、子どもの読書離れを防ぐため、家庭や地域と連携して読書活動を支援します。

成長や発達に応じた触れ合い

インターネットなどでは体験できない五感を通じた本との触れ合いなどにより、子どもたちの好奇心を刺激し、もっと学びたいという学習意欲の喚起に繋がります。



親子で楽しむ

少子化の進む中で、親子や子育て世代同士が楽しい本の世界を共有したり、読書を通じたコミュニケーションを深めたりすることの出来る場や機会を提供します。赤ちゃんや小さな子ども連れの親子の使いやすさに配慮します。



10代の居場所

読書や図書館から遠ざかりがちな世代の利用や主体的な学習を促進するため、他の利用者との対話や交流、共有が可能な10代のためのサードプレイスを提供します。



子どもの読書活動推進

家庭、学校、地域における子どもの読書活動を推進するために啓発や支援活動を展開します。

新たな取組や特色あるサービス

- 親子に優しい図書館
- 読み聞かせや会話ができる児童フロア
- 子どもからの調査・相談及び児童書についての調査・相談窓口
- 10代のための読書コーナー
相談しながら調べ学習ができる学習ルーム

過去から未来へこつこつ紡ぐ

市民が厚木を知り、学び、考える手がかりとなるための資料を収集、蓄積し、市民と郷土資料との出会いをアテンドします。

郷土資料館や市政情報コーナーなどと連携してサービスを展開します。

過去・現在・未来を繋ぐ

貴重な郷土資料を後世へと伝えていくため、関連機関と連携し、厚木市や神奈川県の歴史や民俗についての図書、雑誌、新聞、行政資料、ガイドブック、パンフレットなどの資料や情報などを積極的に収集します。

郷土愛を育てる

市民が読書を通じて地域の文化や産業、歴史などへの理解を深め、郷土への愛着を深めることを支援するため、講座や展示などを通じて地域の魅力や面白さを伝えていきます。

厚木の魅力の発信

様々な視点からのアプローチにより本市の魅力を市内外へ発信します。



新たな取組や特色あるサービス

- 郷土資料館との連携
 - 講座やセミナー、イベントの協力・共催
 - 郷土資料館収蔵資料のミニ展示と図書のコラボレーション
 - 郷土資料の収集・保存・提供の連携
- 行政資料の収集・提供

人と資料、人と人をぐるっと繋ぐ

「人と資料」「人と人」とを繋ぎ、立ち寄るだけでいつでも「だれか」や「何か」に出会える場を提供します。

また、本を通じた市民のコミュニケーションを醸成し、出会い、交流から生まれたエネルギーでまちも元気にします。

市民の憩い、くつろぎの場

図書館が、子どもや学生、子育て世代、ビジネスマン、シニア世代など、様々な市民が足を運ぶ場所であることを踏まえ、それぞれが気軽にぶらりと立ち寄ることの出来る場を提供します。



世代を超えた交わり

多様な市民が集まるという特性をいかし、世代をまたがった交流を通じて市民が新たな刺激を受けたり、多様な経験を可能とします。



中心市街地活性化

本厚木駅に近接し、中心市街地に位置する図書館として、近隣に立地するアミューあつぎなどの公共施設と連携して、中心市街地の活性化に資するサービスを展開し、関連する情報をまちに向けて発信していきます。

新たな取組や特色あるサービス

- 入りやすく、交流しやすいエントランス
- 曜日や時間帯による来館者層に合わせたイベント開催
- サポーターによるイベント開催や企画展示
- 情報交換スペース

4.3.2. (仮称)こども未来館との融合に基づくテーマ

(仮称)こども
未来館との
融合

おどろき、ときめき、きらめき魅せる

50年後、100年後の厚木に向けて、図書館機能と(仮称)こども未来館機能を融合します。

「なに?」「なぜ?」「なるほど!」という「ワンダー(驚き)」に出会い、ときめきやひらめきを探求へとつなげていきます。

学びと体験の融合

図書館における学びと発見、(仮称)こども未来館における遊びと体験とを有機的に結びつけ、子どもの学びに、遊びと体験、発見と探求の要素を組み入れてサービスを展開します。

施設整備に当たっては、中央図書館の子どもを対象としたフロアと(仮称)こども未来館で共通のウェルカムゾーンを設置し、施設としての一体感を醸成します。

子どもたちが好奇心に導かれるままに、図書館から(仮称)こども未来館へ、(仮称)こども未来館から図書館へ移動することで、子どもが自ら課題を発見し、学び、考え、創造するための力を育てることを支援します。

(仮称)こども未来館の展示に隣接して書棚を設け、関連図書を展示するとともに、科学実験、工作会、プラネタリウムの番組に合わせた関連資料の展示を行います。

新たな取組や特色あるサービス

- 展示で魅せる、図書で学ぶ、展示と図書の連動
- 講座やイベントなどのコラボレーション
- 施設見学、学習来館、職業体験などへの連携した対応
- 読書ボランティアの育成と支援

4.4. 他の主体との連携

4.4.1. (仮称)あつぎ郷土資料館との連携

新たな中央図書館に(仮称)あつぎ郷土資料館の駅前サテライトとなる機能を持たせることで、収蔵資料のミニ展示や講座・セミナーの開催等の共催事業を実施します。

また、図書館司書と(仮称)あつぎ郷土資料館の学芸員とが連携し、本市に関する調査・相談に対応します。

4.4.2. 学校との連携

学校図書館からの調査・相談に対応するとともに、学年や学習内容を基に、読み物・絵本・ノンフィクション等からなる団体貸出セットを提供したり、司書が出張して読み聞かせやブックトークを実施することで、学校図書館と連携して子ども読書活動を推進します。

また、市内の児童生徒を対象に、図書館と(仮称)こども未来館における団体見学・利用を受け入れ、施設全体で統一性を持たせたプログラムを提供します。

4.4.3. 子どもに関わる施設との連携

乳幼児期からの家庭における読書活動を啓発・推進するため、幼稚園や保育所、児童館、子育て支援センター等、育児や子どもの成長に関わる施設と連携して子どもの読書環境の整備に努めます。

4.4.4. 市民との協働

サービスの展開に当たっては、サポーターや読書ボランティアとの積極的な協働を図ります。

図書館と市民がそれぞれの立場を理解し、補完し合いながら活動を展開することで、市民にとって利用しやすい図書館づくりや多様なサービス展開へとつなげていきます。

第5章 新たな中央図書館の施設規模及び機能に係る事項

5.1. 新たな中央図書館の機能に係る事項

5.1.1. 新たな中央図書館に必要な主なエリア

新たな中央図書館に求められる主なエリアは次のとおりです。

(1) エントランスエリア

図書館の顔として、明るく気軽に入りやすいエントランスエリアとします。エリア内に総合案内窓口を設け、館内の案内や登録の受付等を行います。

利用者の利便性に配慮し、セルフ貸出機や予約資料受取コーナーを隣接して配置し、必要に応じて窓口の職員が援助します。

なお、利用者同士の待ち合わせや交流を行える場を設けるとともに、併せて、パンフレットやチラシ架、掲示板等を配置し、情報収集や情報交換を可能とします。

(2) 開架・閲覧エリア（大人向け）

大人向けの開架・閲覧エリアは、フロアが見渡せるよう低書架と閲覧席を効果的に配置し、資料を探しやすく、ゆったりと過ごすことのできるエリアとします。また、適切な通路幅を確保することにより、車椅子やベーカー、杖等による移動や地震等の災害時の避難誘導を容易にします。

さらに、エリアの入口近くに企画展示コーナーを配置し、発見から探究へと誘導します。

多少の会話が可能なエリアと静寂を求めるエリア（学習席、対面朗読室、録音室等）を明確に区分します。

平日昼間は、子育て世代やアクティブシニア層の利用、夕方から夜間は、通学・通勤者層の利用が想定されることから、どちらにも対応できる閲覧エリアを目指します。

調査・相談エリアを設け、電子情報が得られるコーナーと職員に気軽に声をかけられ、落ち着いて相談できる窓口を置きます。

郷土・行政資料の提供とともに、（仮称）あつぎ郷土資料館のサテライト機能を果たします。

(3) 開架・閲覧エリア（子ども向け）

子ども向けの開架・閲覧エリアは、（仮称）こども未来館との融合を図るエリアとし、両施設で共通のウェルカムゾーンを設け、施設としての一体感を醸成します。

このエリアでは、子どもが好奇心に導かれるままに、図書館と（仮称）こども未来館とを行き来できるようなゾーニングとするとともに、共用の展示コーナー、幼稚園や小学校の団体来館対応ホール（会話が可能な学習席や講座室として兼用）、閲覧席、書架等を配置します。

また、図書館内には幼児と保護者の読書コーナーや静かなおはなし会用の音を遮断できる部屋、子どもからの質問や児童書についての相談に答える調査・相談窓口を設けます。

(4) その他

前述のエリア以外に、市立図書館サービスの中核機能を担うための作業エリアや書庫エリア等が必要となります。書庫エリアについては、閉架部分と団体貸出に対応する開架部分とで構成します。

5.1.2. 新たな中央図書館に必要なエリア一覧

新たな中央図書館に必要なエリア一覧を表 10 に整理します。

表 10 新たな中央図書館に必要なエリア一覧

エリア	構成内容	単独	共用
エントランス エリア	総合案内		
	貸出及び予約資料受取コーナー		
	チラシ・パンフレット、掲示板等		
	交流・情報交換コーナー		
開架・閲覧 エリア (大人向け)	一般書		
	多言語資料		
	新聞・雑誌		
	視聴覚資料		
	郷土・行政資料		
	閲覧席		
	学習席(静寂)		
	対面朗読室、録音室(静寂)		
	企画展示コーナー		
	展示ブース		
	講座・セミナー室、ホール		
調査・相談 エリア	調査・相談窓口		
	電子情報コーナー		
開架・閲覧 エリア (子ども向け) (ティーン向け)	絵本及び児童書、紙芝居等		
	調査・相談窓口(子ども向け)		
	読み聞かせコーナー(開閉可能、カーペット)		
	乳幼児読書コーナー(カーペット)		
	10代のための読書コーナー		
	閲覧席		
	学習ルーム(会話可能)		
	ベビーカー置き場		
	赤ちゃんの駅(ベビリア)		
	企画展示コーナー		
幼稚園・小学校来館対応ホール			

エリア	構成内容	単独	共用
書庫エリア	閉架書庫		
	移動図書館車用書架		
	団体貸出用書架		
事務室及び作業エリア	事務室		
	資料整理、選書スペース		
	配本スペース		
	倉庫		
車庫	移動図書館車、配本車		
	障がい者用駐車スペース		
その他	返却ポスト		
	通話可能エリア又はルーム		
	サポーター及びボランティアルーム		

5.2. 新たな中央図書館の施設規模及び配置について

本市の人口は約23万人で、現在の中央図書館の延床面積は4,739㎡、開架冊数は約24万冊です。新たな中央図書館については、現在の貸出主体の図書館から滞在型の図書館を目指すことや全域サービス網の中核機能を充実することから、次に掲げる8項目について十分な施設規模を確保することが必要と考えます。

滞在型の図書館として拡充する事項

- 開架エリアの拡大、ゆとりある空間の確保
- 閲覧席や学習席の拡充
- 子ども向け開架エリアの拡充
 - ・ 幼児・児童・生徒等の年齢に合わせた居場所づくり、閲覧スペースの確保
 - ・ 読み聞かせコーナーの設置
- 調査・相談エリアの拡充
- エントランスエリアの充実
- 企画・展示コーナーの確保

全域サービス網の中核として必要な事項

- 配本や団体貸出の作業スペース、資料整理スペースの確保
- 資料保存のための書庫の確保

なお、幅広い世代の利用への配慮の観点から、複合施設の低層階の配置とすることが望ましく、音に配慮したゾーニングの必要性や移動の利便性、経済性の観点から、開架部分は2フロアとして、1フロアは図書館単独、1フロアは(仮称)こども未来館と同一フロアとすることが望ましいと考えます。

< 資料編 >

1 平成 27 年度厚木市立図書館事業概要

1 - 1 個人利用の状況

表 1 個人利用の状況

全館	貸出点数	一般	1,004,284 点
		児童	159,594 点
		計	1,163,878 点
	貸出者数		358,668 人
中央図書館	貸出点数	一般	743,307 点
		児童	89,324 点
		計	832,631 点
	貸出者数		253,496 人
	開館日数		334 日
	1 日平均貸出者数		759 人
	1 日平均貸出点数		2,493 点
移動図書館	貸出点数	一般	19,203 点
		児童	9,032 点
		計	28,235 点
	貸出者数		5,222 人
	稼働日数		187 日
8 公民館図書室	貸出点数	一般	218,198 点
		児童	57,449 点
		計	275,647 点
	貸出者数		84,369 人
6 公民館 (予約資料搬送サービス)	貸出点数	一般	23,576 点
		児童	3,789 点
		計	27,365 点
	貸出者数		15,581 人
登録者数	一般		136,736 人
	児童		8,907 人
	計		145,643 人

* 視聴覚資料の貸出点数を含む。

* 児童は 0 歳 ~ 12 歳、一般は 13 歳以上

1 - 2 図書館サービスの概要

(1) 予約・リクエストサービス

貸出中や未所蔵等で本が提供できない場合に、利用者の要望に応えるのが予約・リクエストサービスです。図書館で所蔵していない場合は、購入や他館からの借用で提供しています。

表 2 予約・リクエストサービス受付件数

中央図書館	194,904 件
移動図書館	3,711 件
公民館図書室	105,244 件
公民館(予約搬送)	26,233 件
合計	330,092 件

(2) 相互協力

県内公共図書館との相互貸借制度により、利用者の求める資料を相互に協力して提供するものです。県立図書館の協力により実施されています。

なお、国会図書館及び県外の公共図書館等とは、郵送による相互貸借を行っています。

表 3 相互協力冊数

	貸出冊数	借入冊数
神奈川県立及び県内公共図書館	7,637 冊	10,887 冊
国立国会図書館	- 冊	123 冊
県外の公共図書館等	24 冊	16 冊

(3) レファレンス(調査・相談)サービス

図書の所在調査や調査・相談等、市民の皆様から寄せられる質問について回答するサービスを実施しています。

表 4 レファレンス処理件数

中央図書館	16,972 件
公民館図書室	17,627 件
合計	34,599 件

(4) 障がい者サービス

身体障がい者への図書の郵送貸出、視覚障がい者へ録音（カセットテープ・デイジー）・点字図書、CDの郵送貸出やの対面朗読サービスを実施しています。

表 5 図書郵送貸出

登録者数	48 人
貸出者数	164 人
貸出冊数	447 冊

表 6 点字・録音図書郵送貸出等

登録者数		102 人	
点字・録音	点字	貸出冊数	56 冊
		(内借用)	(29 冊)
	テープ	貸出点数	479 点
		(内借用)	(463 点)
	デイジー	貸出点数	2,118 点
CD	貸出点数	1,182 点	
対面朗読	実施回数		64 回
	実施時間		248 時間
	誘導サービス回数		36 回

(5) 視聴覚サービス

表 7 視聴覚資料保有状況

CD	35,605 点
ビデオテープ	4,261 点
DVD	71 点

表 8 視聴覚資料利用状況

CD	132,351 点
ビデオテープ・DVD	3,619 点
合計	135,970 点

(6) 団体貸出サービス

児童館、保育所、幼稚園、学校、文庫、読書会、育児サークルなど、厚木市内に所在し、営利目的に資料を使用しない団体には、次のとおり、団体貸出を実施しています。

図書・雑誌については
中央図書館では300冊以内で180日以内
移動図書館では50冊以内で14日以内
公民館図書室では50冊以内で180日以内
*ただし、1団体に対する総貸出冊数は300冊まで
パネルシアターとその機材、エプロンシアター、 図書館協力団体の製作による「布の絵本」
中央図書館3階窓口で、5点以内で60日以内

表9 団体貸出状況

登録団体数	相互貸借館	108 団体
	小・中学校ほか	540 団体
	小計	648 団体
貸出団体数	相互貸借館	4,360 団体
	小・中学校ほか	1,595 団体
	小計	5,955 団体
貸出冊数	相互貸借館	7,661 冊
	小・中学校ほか	30,269 冊
	小計	37,930 冊

(7) 小・中学校来館利用等

小・中学校からのグループや学級、学年単位での来館に際して、図書館についての説明や職場体験学習等を行っています。

表10 小・中学校来館記録

	団体数	人数
小学校	13 団体	1,057 人
中学校(職場体験学習)	6 団体	34 人
合計	19 団体	1,091 人

(8) 大学図書館との相互利用

神奈川工科大学、松蔭大学、湘北短期大学、東京工芸大学、東京農業大学の5大学と相互利用を行っています。紹介状等がなくても市民が直接各大学の図書館の専門書などを閲覧できるようになり、また、大学の学生や教職員は、大学図書館を通じて中央図書館の資料を予約、貸出・返却することが可能になりました。

さらに一部の大学図書館からは資料の借用を、平成20年8月からは市民が直接神奈川工科大学の図書館から図書の出借を受けることが可能となりました。

表 11 大学相互利用状況

	大学図書館における 閲覧回数	中央図書館資料への 予約件数	大学図書館資料の 貸出依頼件数
神奈川工科大学	581 回	3 件	11 件
松蔭大学	0 回	1 件	0 件
湘北短期大学	9 回	282 件	9 件
東京工芸大学	104 回	6 件	4 件
東京農業大学	12 回	2 件	1 件
合計	706 回	294 件	25 件

(9) データベース等デジタル資料の閲覧

利用者が直接データベースを検索できるパソコン2台を設置しています。閲覧できるデータベースは、レクシスアズワン(法律情報データベース)、日経テレコン21、官報情報検索サービスです。

10月からは、国立国会図書館のデジタル化資料を閲覧・複写できるサービスを開始しました。

利用件数 112件

1 - 3 行事

(1) 児童・親子対象

表 12 児童・親子対象行事

事業名	日程	回数	参加者数
おはなし会	4月～3月	99回	834人
小学校出前おはなし会	6・7・10・11・1・2月	34回	1,847人
おひざにだっこのおはなし会	4～7月、9～3月	44回	1,158人
子育て支援センター出前おはなし会	5～3月	11回	635人
天の川おはなし会 in コスモシアター	4/29、7/22、7/29	3回	218人
こどもえいがかい	5/6、8/19、10/24、 12/25、3/29	10回	601人
おたのしみ会 人形劇「まほう使いの弟子 / 犬さんの冒険」劇団なるにあ	7/30	1回	91人
図書館クイズラリー	8/5～11	7日	248人
親子で楽しむ長野ヒデ子絵本ライブ	11/15	1回	50人
パパ'S絵本プロジェクトのこんなに楽しい読 み聞かせ	12/5	2回	140人
ブックスタート	4月～3月	44回	857人
睦合北公民館まつり折り紙チャレンジコーナ ー	11/8	1回	103人
依知北公民館図書室冬の読み聞かせ会	12/14	1回	8人
生涯学習出前講座(依知南公民館)	12/2	1回	36人
生涯学習出前講座(緑ヶ丘公民館)	2/4	1回	7人

(2) 一般対象

表 13 一般対象行事

事業名	日程	回数	参加者数
読み聞かせボランティア養成講座 講師: 児玉 ひろ美	6/17・24、7/1	3回	110人(延べ)
生涯学習出前講座(リハビリケア湘南厚木)	7/22	1回	60人
紙芝居の演じ方講座 講師: 野坂 悦子	10/6・20・27	3回	90人(延べ)

1 - 4 所蔵状況

表 14 図書資料(分類別)

(単位：冊)

	中央図書館		移動図書館		公民館図書室		全館		合計
	一般書	児童書	一般書	児童書	一般書	児童書	一般書	児童書	
総記	17,681	3,294	56	47	1,053	349	18,790	3,690	22,480
哲学	13,373	1,568	184	161	1,372	411	14,929	2,140	24,159
宗教	6,771		25		294		7,090		
歴史	22,492	8,792	88	160	1,019	1,555	23,599	10,507	48,073
地理	11,187		369		2,411		13,967		
社会科学	69,640	8,028	437	52	3,788	1,256	73,865	9,336	83,201
自然科学	14,762	14,916	36	255	714	3,362	15,512	18,533	48,902
医学	11,844		462		2,551		14,857		
工学	17,657	4,124	296	137	878	911	18,831	5,172	24,003
家政	14,043	1,907	3,372	59	7,776	374	25,191	2,340	27,531
産業	12,229	3,386	205	66	1,450	848	13,884	4,300	18,184
芸術	31,163	10,950	758	6,365	3,320	5,139	35,241	22,454	57,695
体育	4,970	3,010	71	57	905	314	5,946	3,381	9,327
言語	6,840	1,942	51	52	677	513	7,568	2,507	10,075
文学	159,443	51,864	3,450	1,024	23,968	10,128	186,861	63,016	249,877
郷土資料	28,008	-	11	-	1,949	-	29,968	-	29,968
語学資料	1,192	-	-	-	77	-	1,269	-	1,269
大活字本	2,780	-	128	-	209	-	3,117	-	3,117
洋書	12,988	2,167	-	1	17	82	13,005	2,250	15,255
絵本	-	56,968	-	2,745	-	16,445	-	76,158	76,158
紙芝居	-	2,910	-	209	-	1,472	-	4,591	4,591
合計	459,063	175,826	9,999	11,390	54,428	43,159	523,490	230,375	753,865
		634,889		21,389		97,587		753,865	

2 市民アンケート調査結果・調査票

2-1 調査結果

2-1-1 厚木市立中央図書館や公民館図書室等の利用についてお伺いします。

- (1) あなたは1年以内に厚木市内の図書館を利用したことがありますか？
(該当するものにいくつでも)

表 15 厚木市内図書館の1年以内の利用状況

[上段：回答数 下段：構成比(%)]				[上段：回答数 下段：構成比(%)]					
	利用したことがある	利用したことがない	無回答	回答者数	中央図書館	公民館図書室	予約搬送サービス	移動図書館	回答者数
回答数	243 45.8%	274 51.6%	14 2.6%	531 100.0%	212 87.2%	63 25.9%	14 5.8%	10 4.1%	243 100.0%

- (2) 1年以内に厚木市内の図書館を利用したことがある方に伺います。
図書館を利用した目的は何ですか？(該当するものにいくつでも)

表 16 来館目的

[上段：回答数 下段：構成比(%)]												
	貸出・返却のため	館内で新聞・雑誌・本を読むため	学校や仕事に関係した学習・自習・研究のため	趣味やスポーツ、娯楽のため	生活や病気に関係した知識を得るため	教養や知識を得るため	行事や講座等への参加	時間つぶし、たまたま	親・友人・子ども等に誘われて	その他	無回答	回答者数
回答数	158 65.0%	72 29.6%	59 24.3%	70 28.8%	52 21.4%	54 22.2%	12 4.9%	24 9.9%	21 8.6%	5 2.1%	9 3.7%	243 100.0%

- (3) 問1 - 1で「利用したことがない」とした方に伺います。
 図書館を利用しない理由は何ですか？（該当するものにいくつでも）

表 17 図書館を利用しない理由

	本や雑誌を読まない	本や雑誌は自分で買う	図書館や図書室に読みたい本や雑誌がない	施設が遠い、交通のアクセスが不便	開館時間中に行くことができない	施設が古い、机や椅子が少ない。 雰囲気が悪い	インターネット等の利用で、行く必要がない	その他	無回答	回答者数
回答数	26 9.5%	108 39.4%	19 6.9%	66 24.1%	89 32.5%	30 10.9%	60 21.9%	53 19.3%	5 1.8%	274 100.0%

【図書館を利用しない理由】についてのクロス集計

表 18 図書館を利用しない理由(年代別)

		本や雑誌を読まない	本や雑誌は自分で買う	図書館や図書室に読みたい本や雑誌がない	施設が遠い、交通のアクセスが不便	開館時間中に行くことができない	施設が古い、机や椅子が少ない。 雰囲気が悪い	インターネット等の利用で、行く必要がない	その他	無回答	回答者数
総数	全体	26 9.5%	108 39.4%	19 6.9%	66 24.1%	89 32.5%	30 10.9%	60 21.9%	53 19.3%	5 1.8%	274 100.0%
年齢別	10歳代	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	2 33.3%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	6 100.0%
	20歳代	3 12.5%	10 41.7%	2 8.3%	8 33.3%	7 29.2%	0 0.0%	9 37.5%	3 12.5%	1 4.2%	24 100.0%
	30歳代	3 11.5%	6 23.1%	2 7.7%	9 34.6%	14 53.8%	6 23.1%	4 15.4%	8 30.8%	0 0.0%	26 100.0%
	40歳代	3 7.5%	15 37.5%	4 10.0%	6 15.0%	17 42.5%	5 12.5%	11 27.5%	7 17.5%	0 0.0%	40 100.0%
	50歳代	0 0.0%	20 40.0%	5 10.0%	14 28.0%	24 48.0%	10 20.0%	10 20.0%	8 16.0%	1 2.0%	50 100.0%
	60歳代	4 6.6%	32 52.5%	3 4.9%	16 26.2%	10 16.4%	5 8.2%	13 21.3%	10 16.4%	1 1.6%	61 100.0%
	70歳代	6 14.6%	17 41.5%	1 2.4%	8 19.5%	7 17.1%	1 2.4%	10 24.4%	9 22.0%	0 0.0%	41 100.0%
	80歳代以上	1 16.7%	3 50.0%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	3 50.0%	1 16.7%	6 100.0%
	無回答	5 25.0%	4 20.0%	1 5.0%	2 10.0%	7 35.0%	1 5.0%	2 10.0%	5 25.0%	1 5.0%	20 100.0%

2-1-2 新たな図書館へ望むことについてお伺いします。

(1) 平日、土日のそれぞれで中央図書館を利用したいと思う時間帯はいつですか？(3つまで)

表 19 中央図書館を利用したい曜日と時間帯【平日】

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

	9時 ～ 11時	11時 ～ 13時	13時 ～ 15時	15時 ～ 17時	17時 ～ 19時	19時 ～ 20時	20時 ～ 21時	回 答 者 数
回答数	115 27.8%	117 28.3%	134 32.4%	87 21.1%	79 19.1%	112 27.1%	89 21.5%	413 100.0%

表 20 中央図書館を利用したい曜日と時間帯【土日】

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

	9時 ～ 11時	11時 ～ 13時	13時 ～ 15時	15時 ～ 17時	17時 ～ 19時	19時 ～ 20時	20時 ～ 21時	回 答 者 数
回答数	120 33.5%	112 31.3%	153 42.7%	92 25.7%	46 12.8%	46 12.8%	44 12.3%	358 100.0%

【中央図書館を利用したい曜日と時間帯】についてのクロス集計

表 21 中央図書館を利用したい曜日と時間帯【平日】(年代別)

[上段：回答数 下段：構成比(%)]

		9時 ～ 11時	11時 ～ 13時	13時 ～ 15時	15時 ～ 17時	17時 ～ 19時	19時 ～ 20時	20時 ～ 21時	回 答 者 数
総 数	全体	115 27.8%	117 28.3%	134 32.4%	87 21.1%	79 19.1%	112 27.1%	89 21.5%	413 100.0%
	10歳代	0 0.0%	1 10.0%	2 20.0%	4 40.0%	6 60.0%	5 50.0%	1 10.0%	10 100.0%
年 齢 別	20歳代	7 18.4%	9 23.7%	10 26.3%	8 21.1%	9 23.7%	14 36.8%	14 36.8%	38 100.0%
	30歳代	19 45.2%	10 23.8%	8 19.0%	3 7.1%	5 11.9%	14 33.3%	13 31.0%	42 100.0%
	40歳代	18 25.0%	21 29.2%	19 26.4%	12 16.7%	19 26.4%	22 30.6%	21 29.2%	72 100.0%
	50歳代	9 15.3%	5 8.5%	11 18.6%	4 6.8%	13 22.0%	28 47.5%	22 37.3%	59 100.0%
	60歳代	37 40.7%	35 38.5%	34 37.4%	29 31.9%	11 12.1%	15 16.5%	9 9.9%	91 100.0%
	70歳代	15 25.4%	24 40.7%	30 50.8%	18 30.5%	6 10.2%	5 8.5%	1 1.7%	59 100.0%
	80歳代以上	4 36.4%	5 45.5%	6 54.5%	4 36.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 100.0%
	無回答	6 19.4%	7 22.6%	14 45.2%	5 16.1%	10 32.3%	9 29.0%	8 25.8%	31 100.0%

(2) 今後、充実する必要がある資料は何だと思いますか？
 (該当するものにいくつでも)

表 22 充実する必要がある資料

		[上段：回答数 下段：構成比(%)]											
		調査・研究のための専門書	趣味・実用書・小説	ビジネスに関する図書	医療に関する図書	新聞・雑誌	児童書・絵本	C D・映像資料	電子書籍	データベース	その他	無回答	回答者数
回答数	103	306	72	133	89	130	112	66	36	28	63	531	
	19.4%	57.6%	13.6%	25.0%	16.8%	24.5%	21.1%	12.4%	6.8%	5.3%	11.9%	100.0%	

【充実する必要がある資料】についてのクロス集計

表 23 充実する必要がある資料(年代別)

		[上段：回答数 下段：構成比(%)]											
		調査・研究のための専門書	趣味・実用書・小説	ビジネスに関する図書	医療に関する図書	新聞・雑誌	児童書・絵本	C D・映像資料	電子書籍	データベース	その他	無回答	回答者数
総数	全体	103	306	72	133	89	130	112	66	36	28	63	531
		19.4%	57.6%	13.6%	25.0%	16.8%	24.5%	21.1%	12.4%	6.8%	5.3%	11.9%	100.0%
年齢別	10歳代	1	11	0	1	2	3	3	2	0	0	0	12
		8.3%	91.7%	0.0%	8.3%	16.7%	25.0%	25.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	20歳代	15	21	10	7	12	14	10	6	3	3	0	42
		35.7%	50.0%	23.8%	16.7%	28.6%	33.3%	23.8%	14.3%	7.1%	7.1%	0.0%	100.0%
	30歳代	14	25	8	7	10	23	16	7	2	6	1	50
		28.0%	50.0%	16.0%	14.0%	20.0%	46.0%	32.0%	14.0%	4.0%	12.0%	2.0%	100.0%
	40歳代	19	48	15	15	20	34	21	16	10	3	3	86
		22.1%	55.8%	17.4%	17.4%	23.3%	39.5%	24.4%	18.6%	11.6%	3.5%	3.5%	100.0%
	50歳代	18	42	14	20	11	12	18	11	7	4	10	78
	23.1%	53.8%	17.9%	25.6%	14.1%	15.4%	23.1%	14.1%	9.0%	5.1%	12.8%	100.0%	
60歳代	15	76	10	37	11	21	21	14	7	7	16	115	
	13.0%	66.1%	8.7%	32.2%	9.6%	18.3%	18.3%	12.2%	6.1%	6.1%	13.9%	100.0%	
70歳代	10	48	6	28	14	7	10	4	4	3	21	86	
	11.6%	55.8%	7.0%	32.6%	16.3%	8.1%	11.6%	4.7%	4.7%	3.5%	24.4%	100.0%	
80歳代以上	2	9	0	6	1	1	2	0	1	0	8	18	
	11.1%	50.0%	0.0%	33.3%	5.6%	5.6%	11.1%	0.0%	5.6%	0.0%	44.4%	100.0%	
無回答	9	26	9	12	8	15	11	6	2	2	4	44	
	20.5%	59.1%	20.5%	27.3%	18.2%	34.1%	25.0%	13.6%	4.5%	4.5%	9.1%	100.0%	

(3) 今後充実する必要があるサービスや機能は何だと思いますか？
(該当するものにいくつでも)

表 24 充実する必要があるサービスや機能

	[上段：回答数 下段：構成比(%)]													回答者数
	調査・相談	ホームページによる情報発信やメールによる手続き	子ども向け行事	大人向け行事	ビジネス・就労支援	体に障がいのある方へのサービス	Wifiなどによるインターネット接続	自身で予約した図書や館内の図書の貸出・返却ができるセルフ貸出・返却機	有料宅配制度	有料カフェ等の併設	ボランティアやサポーターの募集、活動	その他	無回答	
回答数	160	117	115	85	68	93	139	164	33	220	48	34	60	531
	30.1%	22.0%	21.7%	16.0%	12.8%	17.5%	26.2%	30.9%	6.2%	41.4%	9.0%	6.4%	11.3%	100.0%

【充実する必要があるサービスや機能】についてのクロス集計

表 25 充実する必要があるサービスや機能(年代別)

	[上段：回答数 下段：構成比(%)]													回答者数	
	調査・相談	ホームページによる情報発信やメールによる手続き	子ども向け行事	大人向け行事	ビジネス・就労支援	体に障がいのある方へのサービス	Wifiなどによるインターネット接続	自身で予約した図書や館内の図書の貸出・返却ができるセルフ貸出・返却機	有料宅配制度	有料カフェ等の併設	ボランティアやサポーターの募集、活動	その他	無回答		
総数	全体	160	117	115	85	68	93	139	164	33	220	48	34	60	531
		30.1%	22.0%	21.7%	16.0%	12.8%	17.5%	26.2%	30.9%	6.2%	41.4%	9.0%	6.4%	11.3%	100.0%
年齢別	10歳代	2	2	3	4	0	2	6	2	0	6	1	0	0	12
		16.7%	16.7%	25.0%	33.3%	0.0%	16.7%	50.0%	16.7%	0.0%	50.0%	8.3%	0.0%	0.0%	100.0%
	20歳代	6	11	13	6	3	8	28	14	4	23	2	3	0	42
		14.3%	26.2%	31.0%	14.3%	7.1%	19.0%	66.7%	33.3%	9.5%	54.8%	4.8%	7.1%	0.0%	100.0%
	30歳代	11	12	28	7	3	6	24	19	3	24	5	5	2	50
		22.0%	24.0%	56.0%	14.0%	6.0%	12.0%	48.0%	38.0%	6.0%	48.0%	10.0%	10.0%	4.0%	100.0%
	40歳代	24	28	27	11	14	19	32	41	5	40	6	8	2	86
		27.9%	32.6%	31.4%	12.8%	16.3%	22.1%	37.2%	47.7%	5.8%	46.5%	7.0%	9.3%	2.3%	100.0%
	50歳代	23	18	17	9	17	16	23	22	7	32	9	5	8	78
	29.5%	23.1%	21.8%	11.5%	21.8%	20.5%	29.5%	28.2%	9.0%	41.0%	11.5%	6.4%	10.3%	100.0%	
60歳代	40	25	15	27	15	22	10	37	4	49	17	6	17	115	
	34.8%	21.7%	13.0%	23.5%	13.0%	19.1%	8.7%	32.2%	3.5%	42.6%	14.8%	5.2%	14.8%	100.0%	
70歳代	33	10	3	14	5	11	5	12	6	23	6	3	22	86	
	38.4%	11.6%	3.5%	16.3%	5.8%	12.8%	5.8%	14.0%	7.0%	26.7%	7.0%	3.5%	25.6%	100.0%	
80歳代以上	8	1	1	4	0	2	0	4	1	8	0	2	6	18	
	44.4%	5.6%	5.6%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%	22.2%	5.6%	44.4%	0.0%	11.1%	33.3%	100.0%	
無回答	13	10	8	3	11	7	11	13	3	15	2	2	3	44	
	29.5%	22.7%	18.2%	6.8%	25.0%	15.9%	25.0%	29.5%	6.8%	34.1%	4.5%	4.5%	6.8%	100.0%	

(4) 今後充実する必要があるスペースは何だと思いますか？
 (該当するものにいくつでも)

表 26 充実する必要があるスペース

	[上段：回答数 下段：構成比(%)]													
	電子情報を調べたり、調べ方を職員に相談したりするスペース	静かに学習をしたり、パソコンで作業をしたりするスペース	ソファや椅子でゆったりとくつろいで読書をするスペース	新聞や雑誌を読むスペース	親子で読み聞かせをするなど、子ども連れで気軽に利用できるスペース	科学館の展示物と図書が融合したスペース	地域の歴史や文化を体感するスペース、展示スペース	友人と会話をしながら調べ物や宿題をするスペース	行政についての資料や情報があるスペース	利用者同士での出会いや交流を楽しむスペース	会話や飲食が可能なスペース	その他	無回答	回答者数
回答数	124 23.4%	204 38.4%	265 49.9%	87 16.4%	146 27.5%	69 13.0%	98 18.5%	110 20.7%	42 7.9%	64 12.1%	207 39.0%	22 4.1%	68 12.8%	531 100.0%

2-1-3 公民館図書室に望むことについてお伺いします。今後充実する必要があることは何だと思いますか？(該当するものにいくつでも)

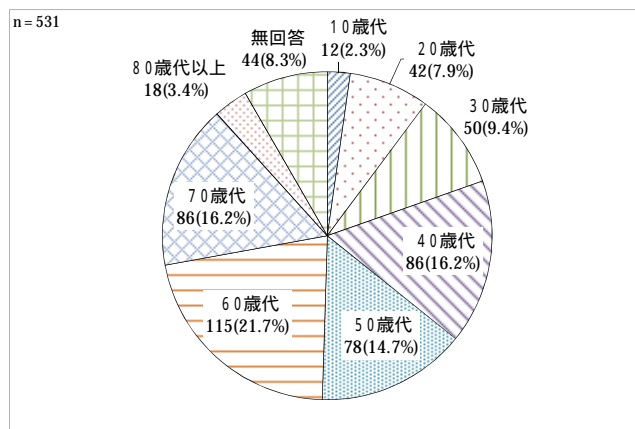
表 27 公民館図書室に望むこと

	[上段：回答数 下段：構成比(%)]							
	大人向けの本の充実、本の入替	児童書の充実、本の入替	ブックスタートやおはなし会等の行事の開催	調査・相談	テーマによる本の特集展示	その他	無回答	回答者数
回答数	234 44.1%	132 24.9%	79 14.9%	111 20.9%	94 17.7%	56 10.5%	111 20.9%	531 100.0%

2-1-4 あなたご自身についてお伺いします

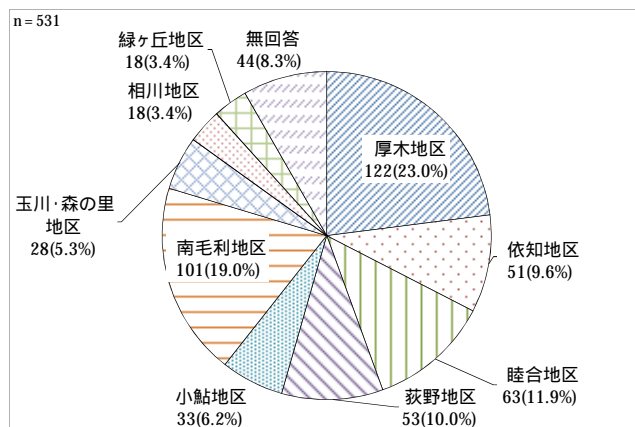
(1) あなたの年齢の番号を で囲んでください。

図1 年齢



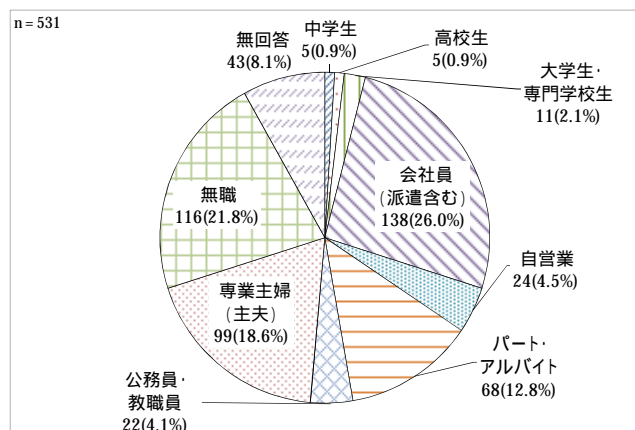
(2) あなたの居住地を で囲んでください。

図2 居住地



(3) あなたの職業を で囲んで下さい。

図3 職業



2-1-5 「厚木らしい特色」ある図書館とは、どのような図書館をお考えになりますか？ご意見をお聞かせください。（自由回答）

(1) 10歳代の回答者からの意見

- ・ 資料や本が充実していて静かに読書、勉強ができる図書館。
- ・ 一人ひとりがくつろげる図書館。
- ・ 大人でも子供でも夢中になって本を読める図書館。
- ・ 親子で来て楽しめる場所。
- ・ 自習スペースを増やしてほしい。地下の調べ物のスペースのような仕切りの付いた机を。宿題や勉強もできるようにしてほしい。
- ・ 明るく広々とした場。天井が高く上の窓をすることで本も読みやすく利用者が増えると思う。
- ・ サイトの検索をわかりやすくしてほしい。検索結果に、関係ない本が混ざっていることがある。
- ・ 蔵書の一部にPOPを付けたり、表紙を見せて置いたりして本屋さんのようにすると良いと思う（新刊本やおすすめ本など）。
- ・ 小さな買い物かごの様な本のかごがあると便利。

(2) 20歳代の回答者からの意見

- ・ 自然豊かな森をテーマにした図書館。
- ・ 子供向けコーナーは充実していて良いと思う。今後は若い社会人が利用しやすい環境も整えてほしい。WiFiなどの環境も整えた上で仕事や趣味に関する書籍に手が伸ばしやすくなるようB1階スペースを改良してもらいたい。具体的にはパソコンコーナーを1部分だけにするのではなく、全体で使えるようにするなどしてもらえるとより利用しやすくなると思う。
- ・ 子供が楽しみながら本に触れられる素敵なインテリアがあるので良い(乗り物の形をした本棚、家の形をした本棚など)。大人もゆっくりお茶、食事をしながらくつろげる図書館が良い。
- ・ 厚木は子育てに優しい町だと聞いている。図書館も子連れのママが行きやすいスペースを作るべきだと思う。大人スペース、子供スペース(触ってもOK)をきっちり分けてほしい。
- ・ 子育て支援に力を入れてくれているので親子で利用しやすい図書館。ゆったりとしたスペースがあると嬉しい。オムツ替えや授乳がしやすいと良いと思う。
- ・ フロアで大人、子供、調査(専門)に分かれているわかりやすさを維持しつつ、レファレンス窓口をもう少し声のかけやすい位置にしてほしい。また、交通アクセスの面で駐車スペースのある施設になると利用しやすい。
- ・ ソファやイスでゆったりとくつろいで読書をするスペース。利用者同士での出会いや交流を楽しむスペース。強く希望する。
- ・ 人と人との交流が盛んで図書館を中心とした沢山のひとと知り合うことができる。語学の勉強が好きだが語学の勉強には話すのが一番。勉強したい分野が同じ人を引き合わせてより高いレベルの語学力を身につけられるような役割を図書館に担ってほしい。
- ・ 職員の分担が増える(人件費のかかる)ようなサービスより、本をゆっくり読める、きれいである、おしゃれで行ってみたいと思わせる図書館を作してほしい。厚木らしい特色はお祭りやアミューでやれば良い。図書館にまでそ

れを持ってくるやり方は古い。カフェやレストランなども流行の店を入れないと一瞬で集客は落ちると思う。パッと目を引くエントランス作りが必要。上記のアンケートの内容のようなサービス、スペースは今で充分。

- ・ コーヒー、紅茶のおいしいところが厚木は多いと思うのでカフェをやってほしい。
- ・ 立地が本厚木駅に近いので駐車場を確保するのが大変なのはわかる。公共交通機関利用の促進になっている部分もあると思うがせっかくアミューができて近くにもパーキングがあっても提携はできないのか。近所の公民館では本の貸出しがあるが読み聞かせスペースがほしい。どこを利用してもスタッフの方が親切なのはうれしい。
- ・ 理由しにくい一番の理由は駐車場がないこと。厚木市は車を利用している人も多いと思う。子育て支援制度の充実から考えると厚木市で子育て中の人も多いと思う。アミュー厚木もそうだが駐車場がないと気軽に行けない。駐車場の確保とママ友同士で使えるカフェやソファースペース、子供と安心して任せられる読み聞かせスタッフの充実がほしい。
- ・ 小田急線沿線駅の徒歩圏内に専門書を充実させた巨大な図書館を1つ作ってほしい。その他の図書館はあまり必要ない方向に進むと思う。図書館とは別に受験生が学習できる自習スペースを設けた場所を作ってほしい。学校開放でも良い。
- ・ やる気のある職員を増やしてほしい。

(3) 30歳代の回答者からの意見

- ・ 厚木らしいといわれると難しいが新しい図書館になるなら明るい雰囲気で行ってみたいと思える図書館になってほしい。今は海老名の図書館の方が行ってみたい。親子に優しい図書館になってほしい。
- ・ 厚木の歴史文化が体感できるような展示、パネルがあって良い(郷土資料館との兼ね合い)。ビデオテープをDVDに変更してほしい。ビデオは重いし映りが悪いし傷みも早い。
- ・ 子供が楽しめる図書館。
- ・ あゆころちゃん絵本。
- ・ もみじのての様な充実した育児支援機能、新しい蔵書が充実している。B級グルメ、温泉、厚木の名産とのコラボ。小学校の図書館と市立図書館のとの連携を密にし、小学校の学習を補ってほしい。ポプラディアなどの複本から始めて。
- ・ 子供が沢山本に触れ合えるような空間作りをお願いしたい。静かな空間と、話をしながらでも楽しめる空間に区分けされたメリハリのある施設が良い。図書館というと静かというイメージが今まで強いので子供がいる私にとってはちょっと行き辛い空間。
- ・ 子供のイベントを通して、親子が他の親子、地域の方、職員の方々と関わると嬉しいです。
- ・ 子供の頃より本を読むのが苦手で図書館に足を運んだことがほとんどない。静かにしないといけないというイメージが強くて子供を連れて行こうと思わない。子供連れでも気軽に利用できるスペースや、飲食可能なスペースを広げてもらえれば行く機会も増えると思う。
- ・ 小さな子供もゆっくり読むことができたり絵を描いたりできるスペース
- ・ 保育園(学童)併設。ネット検索、有料宅配。本の買取。
- ・ 新しいサービスを充実させるのも良いと思うが、今あるサービスを地道に大切に続けていってほしいと思う。幅広い分野の蔵書を更に充実させてほしい。

ここへ来れば古いものから新しいものまでほしい情報が手に入るというのは何よりも強みになるのではないか。

- ・ 森の中に大きな図書館がありカフェスペースも併設されていたら理想的(駅前図書館は残したまま)。映画上映(子供向け、道徳的なものなど)。移動図書館ではなくバスの運行があるともっと利用しやすい。厚木に引越してきて10年になる。図書館が利用しにくいところが残念に思っていた。小学生の郊外学習でも利用できるような図書館があれば良い。勉強スペースも狭くいつもいっぱい。
- ・ 勉強するスペースがいつも混み合っているのももう少しスペースを広げてほしい。競争して場所取りをしなくても良い様に工夫してほしい。
- ・ 広々とした部屋で自然に囲まれた場所にあり、景色もすばらしいところがあれば行く楽しみが増えると思う。ほうさいの丘とかに図書館があれば公園もあって良いと思う。
- ・ 中庭や公園併設などと快適な部分と緑とかがある図書館が良いと思う。
- ・ 座席が広く数が多い。ゆっくり本が読めるスペースがある。
- ・ きれいで清潔な図書館を希望。中央図書館にしか行ったことはないが少し臭いが気になる時がある。種類豊富な図書館。
- ・ 施設が清潔。
- ・ 厚木中央図書館は暗く冷たい感じ。せっかくプラネタリウムもあるのにどこかの会社のビルのようにもう少し明るくオープンで、本が好きな人だけではなく読書が苦手な人でも入りたくなるような、本を借りる、探すなど具体的な目的がなくても入れるような雰囲気があると良いと思う。あとはフロアごとに完全にジャンルが分かれているより、うまく区切りながらもそれぞれのジャンル(大人、子供など)が感じあえるスペース、間取りが良い。自分の住んでいる厚木について知ることのできる歴史スペース、文化コーナーを設けるのはどうか。厚木は四季折々の魅力がある街だと思うので、季節に合わせたシーズンスペースはどうか。暖かい季節にハイキング、登山関連コーナーや、冬には市内の温泉がおすすめなので日本各地の温泉や宿の本のコーナー。厚木のしし鍋にちなんで冬に美味しい鍋料理などの料理本コーナーなど。
- ・ 中央図書館の利用者はほとんどリピーターのみだと思う。パソコンや携帯の普及により本を読むことも減り、買い物などをする人は海老名へ行ってしまう。実際土日でも本厚木付近はガラガラ。特に若い人は図書館利用のために自宅から本厚木に向かう人も少ないのではないかと。専用のパーキングがないのも利用しにくい原因の一つ。静かな環境で勉強をしたり読者が趣味の人は良いと思う。そういった利用者はリピーターであり足げに通うと思う。今後は新しい人々を取り入れるための何か、年数回でもシティプラザ内の施設を利用しようと思う何かが必要。若者向けの雑誌やCDが置いてあることを知らない人も多いと思う。オンラインでのダウンロードが当たり前の中であり時代の影響も大きいと思う。
- ・ 厚木の図書館は資料がないのが今の特色。かつてはレーザーディスクを視聴できるスペースがあり映像資料も充実していた。今はビデオテープが置いてあるだけで資料として使い辛い。ソニーが厚木にあるのに残念。厚木らしい特色とは最先端の技術を生かすことだと思う。図書館資料もダメな時がある。映画の原作について資料の追っかけができない。向田邦子の「無名仮名人名簿」は古くて置いていないといわれた。今実施されている映画の資料が古いと言われてしまう。映像、今の映画についての資料については集められる最先端の図書館を作ってほしい。
- ・ 新しいことを取り入れてほしい。海老名のように。
- ・ 図書館の前に厚木に特色がないことが問題ではないでしょうか。

(4) 40 歳代の回答者からの意見

- ・ 小江戸には厚木も含まれている。歴史ある厚木をもっとアピールする発信源になってほしい。
- ・ 厚木の歴史がわかる資料や写真。子育て充実の町にふさわしい幼稚園～高校生まで本に触れやすい環境の整備。
- ・ 厚木の企業と連携した図書の充実。B 級グルメやスポーツサイクルなど厚木の特色の図書コーナーの充実。厚木のみが有する蔵書の電子図書化。
- ・ 厚木の自然や場所の紹介する展示がある図書館は良いと思う。2 階は大人向け、3 階は子供向け。例えば 2 階は相模川の生き物（魚、昆虫など）鳥、植物、イベントの紹介（鮎のつかみ取りなど）を本や写真で紹介。3 階は子供受けがする実際に足を運んでみたくなる内容にする。今は夏なので萩野運動公園では夏の虫、花や木などを写真や図鑑を開いて展示。家族で楽しいイベントになったり、ハイキングに出かけてみたいと厚木市内の紹介コーナーがあれば見てみたい。
- ・ 厚木という地域を学ぶ歴史資料が必要。話題性が必要。
- ・ 近代的な図書館ではなく、読書スペースに緑や花などあり、ゆっくりとして時間が流れる場所であってほしい。
- ・ おしゃれだったり、居心地が良かったり、行きたくなる場所であるのが良いと思う。あまり行くことがないが今後子供とはいくかもしれない。子供と本が楽しめるようになると良い。
- ・ 明るい雰囲気的空間や、子供たちがゆったりと過ごせる環境があると良い。また学生が気軽に学習しながら飲食などできると良いのではないか。
- ・ 気軽にどのような本でも手に取りやすいような雰囲気の柔らかい図書館。あゆこちゃんがかウンターで返却の受付。誰でもいつでもふと寄れる図書館。清潔な図書館を望む。
- ・ 駅近く、小さい子も本を楽しめる（畳で足を伸ばして本が読めるなど）のが良い。イモムシ型の本棚（紙芝居が入っている？）が 3 階にあるが子供が小さいころ喜んで跨っていた。図書館なので乗る物ではないんだよと注意したが、お行儀良く椅子に座らなくても寝転がって絵本が読めたりしたら楽しいと思う。相模原の市立図書館にあり良かった。
- ・ 子供が小さい頃は子供に本を好きになってほしくて時々利用した。CD や DVD ももっと沢山借りられると良い。飲み物、食べ物があればもっとくつろげると思う。マナーの悪い人も出てくるかと思うが。おはなし会など子供が喜ぶ企画も見かけるが、平日の日中なので仕事をしているためいつも行けなかった。保育園や幼稚園に出張してもらえたら。費用が掛かることは有料にして良いと思う。
- ・ 児童向け図書館に靴を脱いで座れるスペースがあると良い。床に座り込んで漫画を読んでいる子供を良く見かける。子供たちが喜んで図書館に来られると良いと思う。本のリサイクル活動に力を入れる。図書館の古い本を無料でもらえる。家で要らなくなった本（図書館に今までない本だけ）を引き取るなどイベント（リサイクルウィーク、デイ、月間）にしてやるのも良い。
- ・ 子育てに力を入れている市として親子で遊びを通して本に触れ合えるようなスペース、コミュニケーションを楽しみながら本に触れ合えるようなスペースがある図書館。高齢者と子供がコミュニケーションを図れるような（伝統の伝承など）図書館。
- ・ 子育て環境を重視している厚木なので子供関係の充実を更に進め本に親しむ機会が更に増えればと思う。兄弟が同じ場所で楽しめる。以前あった靴を脱いで座っていただけるスペースがあると良い。

- ・ 子育てしやすい厚木市だと思う。夏休みになると週 1~2 図書館に連れて行く。近くで飲食できたりできれば子供ともっと長く図書館に居れると思う。
- ・ 大きな水槽があったりすると子供が喜ぶ。
- ・ 高校生の子供がいつもアミューで勉強している。アミューのような勉強スペースがあれば高校生の利用も増えるのではないか。1階のパン屋さんが無くなったのも残念。
- ・ 自主学习スペースが3階なので大人の資料がある2階から離れているのを改善してほしい。調べものをしながら学習できるように2階や地下にも自主学习スペースがほしい。厚木は子育て日本一の環境づくりを目指しているのだから子供が利用しやすい図書館にするのが良いと思う。幼児、小、中、高校生がずっと利用できる施設にしてほしい。幼児期 絵本のコーナー、ブックスタート。児童期 調べ、学習しやすい環境(今のままでは難しい、机は読むためだけのスペースになっている)。中高校生 自主学习スペースの充実。館内で飲食でき、昼食(弁当)をはさんで1日中勉強できるスペースを設ける。
- ・ ソファやイスでゆっくり本が読めるスペースが広いと良い。
- ・ 図書館で厚木らしさを求めなくても良いと思う。強いてあげるなら高品質。館内がきれい、職員の対応が丁寧、利用者が上品、みんな落ち着いている、子供が楽しそう、で図書館に行くと新刊から技術本まで手に取れる。もしくは他の図書館から取り寄せがスムーズ。そんな図書館らしい図書館を望む。
- ・ 大きな公園に隣接する図書館。公園で遊びと休憩も兼ねた図書館。
- ・ 全体的に老朽化しているので大人から子供までもっと閲覧しやすいようにしてほしい。一部にボックスシートのようなゆったりと本を読めるようなスペースがあると良い。
- ・ 静かに利用したい人、会話ができるところで利用したい人分ければ、各目的別で来館しても干渉されずに気持ち良く利用できると思う。
- ・ 体が不自由なため紙の本を読むことが大変。Web で電子書籍が貸し出されると良い。
- ・ 厚木は子供や年配の方も多いが、会社勤務も多いので働いている人ももっと利用しやすくなったら良いと思う。
- ・ ゆったりしたソファなどでコーヒーなど飲みながら自宅にいるようなスペースで本を読むことができる図書館があったら行ってみたいと思う。図書館=気を使うところというイメージ。自宅のようにリラックスして本を読めるスペースがあれば立ち寄り方も多くなるのではないか。
- ・ 子供向けの図書館はよくあるので大人がゆっくり落ち着いて読書ができる図書館にしてほしい。また大人向け行事や講座、司書の方がおすすめの本の紹介など図書館から遠ざかりがちな OL や会社員でも興味を持てるようなものを充実させてほしい。
- ・ 厚木市は良い環境づくりをしてくれていると思う(市政)。親子で読書が身近にある生活をするために図書館が気軽に利用できる施設として今までの公的施設のあり方を見直すことが大切だと思う。それには職員の意識改革から。四角四面過ぎるところを見直してほしい。数年前にあまりにひどい対応だったのでそれ以来行っていない。
- ・ 厚木の「わかあゆ号」の充実はすばらしいと思う。中央図書館まで行くことができなくても本に触れることができる。限られた本でもバリエーションに富んでいて予約した本を受け取ることができるので身近に図書館を利用することができる。便利に利用させてもらっているがやはり巡回してくれる場所が限られているので私の周りでも利用したくても利用できない、利用しにくい人が沢山いる。「わかあゆ号」の更なる充実が文化都市厚木の土台にな

ると思う。

- ・ 予約した本が公民館で受け取れて返却できる。厚木市の公民館ネットワークを使って最寄の場所で借りられる。電子書籍がダウンロードできる。
- ・ 中央図書館だけでなく、公民館図書室はとても価値があると思う。これからも図書の入れ替え等をして充実させてほしい。
- ・ アミューとの連携行事。
- ・ 立地、施設形態、行事や事業など、全国の公立図書館の中でも先駆者的な取り組みを行ってきた図書館。指定管理者制度との兼ね合いもあると思うが、公立図書館として守らなければならない衿持もあると思う。公立図書館という位置づけの中で何をすることができるのかを考え、それに挑戦していくのが厚木らしい図書館だと考える。
- ・ ネットの普及で本自体の需要が減る中、無理に利用率を上げようとせず子供図書館に絞る、地域や市の行政、歴史的資料に絞る、などの選択もあるのではないかと。変に利用率やサービス向上を狙うと海老名市のツタヤ図書館のようなみっともない状況にもなりかねない。駅前から離れ、郊外の車で行きやすい場所に移転するのもあり。
- ・ 利用するのは平日の夕方が多いので混雑していることもなく今のままで充分。
- ・ 厚木らしさがピンと来ない。もう少し市民にアピールしても良いのではないかと。
- ・ 厚木らしさが何なのかわからない。単純に利便性の充実、改善。
- ・ 厚木らしい特色。。。と言われてしまうとわからないのですが、海老名市立図書館や TSUTAYA 図書館のような図書館なら、大人も楽しいので行きたいと思えます。

(5) 50 歳代の回答者からの意見

- ・ 厚木の観光に関する本を通して宣伝効果を高めたり、いろいろ体験して良さを知ってもらうなど工夫を凝らしていくことが必要。
- ・ 図書館というと静かなイメージがあるので時々プロでもアマでも良いから絵画やイラスト、作成したい模型でも良いので、そういう物の展示も良いと思う。一つのことをというのはい今の時代少し辛いように思う。
- ・ 館内が明るくなりゆっくりとしたスペースがあれば良いと思う。厚木市のアピール本のスペースや地区別の資料がわかりやすくあれば良いと思う
- ・ 相模原を眺望できるロケーション。自主学習できる個々のスペースの充実とリフレッシュできる景観があると良いと思う。
- ・ 本屋には週 1~2 回行くが、図書館には最近足が遠のいていた。最新の図書情報を求めていたためと、単に本を借りるだけでなくくつろぎや癒しなども求めていたように思う。市民の意見を取り入れながら厚木らしさもある図書館になれば良いと思う。
- ・ 今でも座れないことが多い気がする。くつろぐスペースを増やしてもなかなか座る席を確保するのは難しいと思う。勉強している人が多いので仕方がない。
- ・ 時間単位で有料スペースというのも有りかと思う。
- ・ 空調整備（排気）を整備してほしい。明るく清潔な図書館を。
- ・ スポーツクラブのトレーニングメニューのように読書の年間メニューを作ってその本を読む動機付けなどのプログラムをフォローしてもらえたら図書館に行く機会も増えるかもしれない。

- ・ どこかの図書館で紹介していた図書館通帳があれば楽しく利用できると思う。駅近くでなくても良いので駐車スペースのある立地または無料巡回バス。
- ・ 子供が楽しめるイベントの開催。紙芝居など読み聞かせ開催。催物の告知をHP以外、公民館たよりや厚木市の広報などに掲載。
- ・ ゆっくり本を読む時間が取れない。子育て中のママさんが図書館で子供を見てもらいながら本を読めたり、問 2-4 5.のようなスペースがあると図書館を利用しやすいと思う。
- ・ 誰でも通り抜けできる通路になっているとちょっと覗いていこうかと思えるのではないか。
- ・ 数年前に利用したが机やイスが少なく利用しづらかった印象がある。思い切って郊外の大きな民間施設と一緒に建物にしてはどうか。今のように駐車場がなければ集客は難しいと思う。ショッピングや飲食店もあれば途中で食事できるし親が子供を連れてきてくれる。子供が多く集まり、施設も明るく開放的な印象があれば集客することも可能かも。子供が出入りすれば周りが明るくなり母親も利用しやすくなる。
- ・ 障害者、お年寄りに優しい図書館。退職後時間を持て余している人達のたまり場になっているのでそういう人達にボランティアになってもらってはどうか。
- ・ 老眼が進みめっきり本から遠ざかってしまった。文字の大きな読みやすい本があれば。
- ・ CD、DVD など鑑賞できるスペースがあったら良いと思う。
- ・ 読書の仕方や好みは人それぞれだが、特色を出すということは難しい。静かにするか、会話できるようにするかということもどちらに決めるのは難しい。広いスペースがあれば分けてということになると思うが。カフェがあれば良い。図書の充実はしていると思うのでいろいろな人が使いやすくということに着目する感じかなと思う。
- ・ 子供と親、中高年のおしゃべりに煩わされないで読書や学習ができるスペースが確立されている。特色も良いがそのような基本がきちんとしている図書館であってほしい。現状海老名が一番使いやすい。使いたい時に開いている。
- ・ 海老名のような新しいことに取り組む必要がある。市の活性化にもつながり利用する側も多様性に期待していると思う。
- ・ 無料の休憩所のようなソファで居眠りは禁止すべき。新聞や週刊誌のようなものも不要。
- ・ 地下道や周りの施設も含めて新しく変更するべき。
- ・ 厚木は緑多いイメージ。利便性で街中にあるが周辺は様々な種類の木立が囲んでいる。その中央に建物がある。
- ・ 最近テレビなどでカフェのスペースが併設されているのを見たことがある。気軽に入ることができ、声を少し大きく出しても良い、そんな図書館なら利用しても良いと思う。子供が大きくなると図書館には行かなくなる。そんな方をターゲットにしたら利用者が増えるのではないか。孫と一緒に通えるような遊べるスペース、読み聞かせの場もあると良い。
- ・ 海老名の図書館を利用したが本を探す楽しみ、それに関連した雑貨、用品を同時に購入することができる。明るく開放的で楽しいひと時を過ごせた。開催されていた座談会にも少しだけ参加した。厚木市の図書館もわくわくする図書館になってほしい。今は外観からは図書館とは到底思えない暗さ、古さ。とても利用する機になれない。
- ・ 海老名図書館みたいに变身してほしい。カフェ併設など。
- ・ 各地域の交流の場としてカフェを併設、駐車場付きの施設。

- ・ 駐車場があると行きやすい。
- ・ 公民館や児童館が沢山あって便利な様に図書館の数も増やしてほしい。メールでの手続きと合わせて活用しやすい身近にある場所というもっと敷居の高くないものになったら良いと思う。
- ・ 厚木らしさがわからない。海老名図書館を週2で利用している。駐車場もありWiFi環境も整っており、読みたい本も多くある。
- ・ 厚木市が何を目標しているのか市民として認識していないため厚木らしさを語るができない。
- ・ 厚木では無理。厚木市自体に魅力がない。厚木らしい特色は無理。電通に任せてなんとかしてもらっては。
- ・ 中央図書館の方々が笑顔が少なく、子供に対しての接遇に疑問がある。笑顔と挨拶向上を期待する。
- ・ 特色ある図書館の根は図書館司書の質(心構え)にあると思う。選書によって10年先の厚木の図書館の姿をイメージできる人材が必要。TRCの選書項目をチェックしているだけの図書館員では厚木らしい特色ある図書館の実現は夢のまた夢。

(6) 60歳代の回答者からの意見

- ・ 厚木らしいという認識は人夫々(それぞれ)であると思うが私の中では厚木らしいという自然豊かで都会にも近く交通の要所でもありそこそこ恵まれた土地柄である。厚木の歴史的な資料、関連本などを常設してありその土地の魅力のアピールに努め人々の関心を集める関連の自然分野の図書を揃えるなど充実していること。ゆっくりくつろいでお茶など飲みながら本が読めるスペースを設けるなどおしゃれで進歩的な要素もある図書館を考えている。
- ・ 緑が多いところなので木陰でゆっくり本を選び読める。風の通る図書館が厚木らしいと思う。
- ・ 入館しやすい雰囲気(誰でも気軽に立ち寄れる感じ)。モダンで落ち着きのある内装。
- ・ 図書館の魅力とは何かなかなか難しいがかなりの人にとって魅力的なところであってほしい。
- ・ 老若男女、非健常者、子供等同伴者、バス待ち利用者などが立ち寄りたくなる施設(図書館)を希望する。多岐にわたる古書、新刊、郷土史、歳時記、スポーツ誌などや蔵書を充実していくことを望む。衛生的なトイレ、入館してから退館するまでの時間に限った有料駐車場の割引、有料ロッカーの設置を希望する。
- ・ 子供から大人まで全ての世代が皆で共有できるような図書館を希望する。
- ・ 厚木に住む子供たちが、立ち寄りやすく多く集まるように時々子供向け行事をしてあげると喜ぶと思う。その時は厚木広報などに記事を載せると良いと思う。
- ・ 親しみが持てる小さい子供でも連れて行けるような場所。
- ・ 幼少の頃から書物に親しむ環境は大切です。読み聞かせをすべての子供たちに展開できるような体制、整備と啓発の機能を持たせた図書館を望みます。読解力が何より大切です。理系でも文系でもこの力を若いころに徹底的に鍛える場にしてほしい。単なる貸本屋は不要です。
- ・ オアシスのような図書館。小学生にもわかる行政のアピールスペース。こんなことやっているなど寝転がって本を読めるスペース。シルバーにもわかる行政のアピールスペース。意見を聞く。軽く運動できるスペース。こんなこ

とあったら良いと思うなどのアンケートスペース。自販機を置いてほしい。軽食 OK なスペースがほしい。コーヒー、ジュースなど 100 円の飲み物。カット果物やサンドイッチなどの軽食（200 円まで）。ごみ持ち帰りの徹底。

- ・ 明るくゆったりと広々した静かなきれいな図書館。
- ・ 障害者でもゆっくりとできるスペースや耳障りの良い BGM などがあると良い。集中できるようについたてのあるスペースもほしい。
- ・ 以前はよく利用していたが最近はほとんど行っていないので何も言えない。もう少し座る所があると良いと思う。
- ・ 座るところが多くなればありがたい。お茶を飲んだりするスペースがほしい。
- ・ DVD の充実。パソコン機器の設置。新刊本の充実。
- ・ 平均的な市民が沢山利用できることを目的として蔵書、CD を増やしてほしい。一般的な書物であれば近隣の市と協力して取り寄せ可能なネットワークを築いてほしい。
- ・ 郷土料理、人物の書籍などの充実。読みたい本などの新規購入（アンケートなどや購入書籍の登録による）
- ・ 古くなったり傷んだりした本でも内容に価値のあるものだったら処分せず有効に活用されるといいと思う。リクエストした本はほとんどお借りできている。いつもありがとうございます。
- ・ 新しい本が少ない。絵に関する本が少ないので新しい本を入れてほしい。特に水彩画を描く人が多くなっているので趣味の本を新しく増やしてほしい。芸術の町にしていきたい。
- ・ ネットでの図書の目録。
- ・ 本の並べ方を分類別や種類別などもっと詳しくわかりやすくしてほしい。夏、地下専門書コーナーは暑いように感じるが。プラネタリウムは続けてほしい。学食並みの低料金で利用できる食堂を是非作ってほしい。子供も大人も安心して勉強でき、1日いても数百円程度で済むような温かい図書館を希望する。半世紀前日比谷図書館に勉強に行きカレーを食べた。勉強の内容は忘れてもその記憶だけはしっかりとある。
- ・ 図書館利用個人カード。ジャンル別名前順に配置。一部の市のように民間に業務を委託。芥川賞や直木賞以外にも受賞の作家の本をまとめて一つのスペースに置く。こんな賞がありこのような賞でこんな作家の本なんだと興味が沸くと思う。
- ・ 就労の面接のようなことを随時行っているようなスペース、システムがほしい、何かのチラシなどに仕事に就きたい人が活動的に動くことができるシステムを作してほしい（面接は会社の方）。飲食ができるとゆったりでき、好きな本をいろいろ読め、来ようと思う。
- ・ 厚木に多数在住している中南米の日系人の方とスペイン語やポルトガル語でコミュニケーションできるツール（本、メディア）を備えること。交流スペースの提供。東南アジア諸国からのインバウンドの人々の増加に対応できるツールを備える。
- ・ 一般的な「図書館とは...あるべし」という枠にとらわれないこと。現在の厚木中央図書館の最大の利点は本厚木駅とバスセンターに近接していること。これは仕事帰りにちちょっと寄って行けることになる。逆に車で行くときには不便。また、イオンを除くと近くの店舗は魅力に乏しい。より多くの市民が利用する図書館を新たな複合施設に整備する観点から何でも入れてしまい中途半端な施設にせず特色をはっきりさせるべきだと思う。
- ・ 利用者専用駐車場があると利便性がある。バス利用や有料駐車場ではどうしても遠のいてしまう。

- ・ セルフ貸出し、返却機は勤務先のある区立図書館で経験したが、司書の省力化になっても利用者の利便性の向上にはならないと思う。WiFiの設置は本来の図書館機能から逸脱すると思う。図書館に無料のインターネット環境を整備する必要はなく、他の事業者に任せるべき。近隣の自治体（海老名、大和、伊勢原など、できれば横浜、相模原も）と図書館ネットワークを作り、他の自治体の図書館にある図書を厚木図書館で貸出し、返却できるようになれば良いと思う。
- ・ 貸し出し機関が2週間と聞いているが1ヶ月くらいあると借りても気持ちに余裕ができる。
- ・ 年をとるごとに交通のアクセスの不便さが増してきた。近くの公民館や病院などを利用した移動図書館ができると良いと思った。
- ・ 海老名の図書館がものすごく使いにくくなったため厚木の図書館では使いやすい図書館を目指してほしい。開架式が良い。
- ・ 子供が小さいころまでは愛川町に住んでおり、車で5~6分のところに図書館があったのでよく行った。こちらに越してから図書館には全く無縁になってしまった。おしゃれなカフェスペースがあったら時間を作って出かけるのも楽しみだと思う。
- ・ 手芸の先生から聞いて、最近始めた手芸の本を借りるために利用した。それがなかったら一生利用することがなかった。
- ・ 郊外型図書館と違いスペースが少ないため簡易な図書貸し出しシステムを作り、アミューなどのスペースを利用し、広く読書ができる仕組みを作る。近隣の喫茶店などで読書、返却ができる連携を行う。独自色を出した図書館はまだまだ考えることができる。
- ・ お茶などを飲める場所。
- ・ 本を読む時、飲み物などを飲んでゆっくり飲みたいのでカフェなどに行って読むのが好きだ。公共の図書館はなかなかそれができないので敬遠してしまう。海老名にスタバが入った図書館ができたので行ってみたい。カフェを併設する図書館が厚木らしいのかどうかはわからない。本も汚れる気もするしひとりひとりの公共の場のものの使い方の問題もあると思う。飲食だけはしたい。
- ・ 以前勉強のため図書館を利用した時はバスに乗って図書館に行った。昼食はもったいない。食べに行く時間がロス。遠くから来て図書館を利用する人がロスなく昼食がとれたらベスト。そんなスペースがあれば良い。
- ・ 図書館は飲料はOKでも食はダメだ。一息つきたい人のために別フロアに軽食喫茶を設けるのは賛成。今61歳で仕事についているが65歳で年金生活になった時どう過ごすか。図書館で過ごすことも考えていた。高齢者のための情報提供（余生の送り方、資格取得など）があると良い。
- ・ 駐車場の必要性がある。その点では海老名図書館は便利。海老名図書館を利用している場合、厚木図書館には足が向かない。海老名図書館にないものを作り出せば利用が増えると思う。
- ・ 駐車場があり、車椅子の人も気軽に利用できると良い。
- ・ 住まいが郊外のため移動は全てマイカー。駐車場が十分に確保できる場所に図書館を移してほしい。森や林の中に図書館を立ててはどうか。
- ・ 厚木市の図書館で不便なことは駐車場がない。
- ・ 駅前も良いが、郊外に設置し公園と隣接し駐車場もあるのも良い。
- ・ 立地条件はほぼ問題ないが人口密集地の図書館はそれなりに駐車場など利用者の比率に対して各諸問題を考えてほしい。近隣の図書館がすばらしくなっているのを目の当たりにすると厚木市も独自の図書館を実現できる日を

楽しみにしている。

- ・ 図書館の空気が苦手。空調などに気をつけてもらえると助かる。近隣の人だけが行きやすいだけではなく厚木に住んでいる皆が気軽に行ってみようと思えるような図書館になるよう願っている。
- ・ ここ何年利用していないが、以前利用した時に本がずいぶん汚い印象があったので利用しなくなった。図書館というと硬いイメージだがもっとオープンな感じでも良いと思う。
- ・ 厚木の図書館は2,3階なので1階にしてほしい。
- ・ ロッカーがあると良い。
- ・ 緑がほしいので大きな木。
- ・ 開館時間を23時までにしてほしい。
- ・ 災害発生時には避難できるように建ててほしい。
- ・ 厚木以外の図書館に来館したことがないので意見はない。

(7) 70歳代の回答者からの意見

- ・ 郷土のことを展示発信する郷土資料館との併設、提案。現在、郷土資料館は街中から離れた場所にあり、アピールもないのでどこにあるか知らない人が非常に多いと思う。厚木市に移り住んで郷土愛を育んでもらうためにも街中の図書館の郷土資料館併設を提案する。
- ・ 厚木は良くやっていると思う。もっと自由に出入りができると良い。厚木は良いところだ。
- ・ 児童や高齢者を主眼にした雰囲気効果を望む。
- ・ 良いものができると良い。
- ・ 気軽に入れる。明るく親しめる。中古本の売買スペース。
- ・ 大人も子供たちも共に楽しく共有できる場所になると良いと思う
- ・ 知ることの大切さや楽しさを感じている。本を読めれば幸せ。
- ・ 以前は中央図書館を利用していた。現在は病気療養中で行かれないが本を読むことは大好きだ。他人とのコミュニケーションを図りながら同じ目的の方と共有し調べることは良いと思う。また利用する際は訪問したいと思う。
- ・ 趣味が一緒の方との交流会などが開催されると楽しいと思う。
- ・ 同好会(好きな作家、好きなジャンルなど)があったら良いと思う。書籍を媒体として市民のつながり、交流が深まり、文化的レーベルが高まっていくような方向性を目指したい。
- ・ 静かに学習したり、職員の方に気軽に尋ねることができると良い図書館。安心して教養を高められるようなところ。有料でもカフェなどの併設を希望する。
- ・ 配置がわかりやすいこと。静かで清潔なこと。駐車場の広さと管理。現状では狭くて守衛の人が面倒見が悪い。
- ・ 郷土に関する資料が少ないように思う。地元著名人に関する資料もあまりない。無理して新刊本を揃えることはない。
- ・ 新聞は現在はいちいち頼んで出してもらうので不便。座間図書館みたいに係員がいる近くのところで固定して見られるようにしてほしい。
- ・ 3ヶ月ほど前電気工事関連の本を中央図書館に依頼した。図書購入にはそれなりの手続きが必要であると思うが購入依頼者と図書館側の意思疎通がもっと必要と思う。海老名はツタヤに管理を依頼したとの情報があった。旧海老名図書館には何度も行ったが新しくなってからは行ってない。

- ・ 無料駐車場の設置。駐車場がない現在、中央図書館を利用したことがない。駐車場ができれば月に数回は利用するようになると思う。軽食、カフェの設置。
- ・ 駅の近くで図書館の場所をよく聞かれる。もう少し誰にでもわかりやすい目印がほしい。看板や道順、矢印など工夫して利用しやすいように。エレベーターの所が暗くてわかりにくく入りにくさがある。大勢に人に利用してもらえると良い。職員の方は大変親切で良い方が多い。
- ・ 図書館は本に親しむところ。飲食するところではない。今のままで充分。
- ・ 年齢的にさほど必要性がないので基本的に図書館スタッフに任せる
- ・ 週に1~2回バス停3箇所2区間をボランティアでごみ拾いをしている。畑仕事をしながら1回2~3時間掛かるため図書館に行く時間がない。
- ・ 図書館を今の半分にし、その分厚木市の財政に回してほしい。1日も早く厚木市の財政を立て直し市民の税金を安くすること。

(8) 80歳代以上の回答者からの意見

- ・ 厚木は大都市に近くて自然に恵まれているという利点を生かすべく野山の自然観察に役立つ図書や雑誌など広く収集する。動植物に精通したスタッフを置き、適宜講習会を催したり、指導や案内をしてもらう。他地域の人も厚木に来てもらえるような魅力的な図書館を作る。
- ・ クラシック音楽を聴きながら喫茶も可能なスペースを切望する。
- ・ 利用したいと思わないので望むこともない。

(9) 年齢が無回答の回答者からの意見

- ・ 厚木らしさは丹沢と相模川ではないか。その自然の良さを感じるスペースを取り入れたらいかがか。
- ・ 図書館の建替えなども含め内装も一新して更に明るくゆったりしたスペース及び落ち着いて快適な環境で読書・閲覧などができると良いと思う。施設の充実にも関心がある。
- ・ 本厚木駅の利便性にとらわれず、郊外に駐車場の整備されたメディアセンター機能の併設された文化的なアーカイブを建設する。
- ・ 必要がない限り出向くことがない図書館ではなく、用事がなくても行ってみたいと思うような図書館作りを目指してほしい。
- ・ 気軽に利用できる図書館を目指してほしい。
- ・ お年寄りから子供まで各年代の人達が気軽に立ち寄り利用できる図書館。
- ・ 海老名の図書館がリニューアルして良い印象だ。幅広い年齢層に受けるのは難しいと思うがカフェ感覚で子供がいても安心して利用できる図書館を求めたい。
- ・ 子連れでも気軽に行けて(キッズメニューがあるカフェがあると良い)、読み聞かせができる図書館なら利用したいと思う。
- ・ ブックスタートなど0歳の頃から本に親しむような政策があるが、図書館には子供を床に置いて読み聞かせをするスペースがなくとても残念。何度かまだ座ったり立ったりできない子供と利用したが、そこがとても不便だった。改善してほしい。
- ・ 子育て支援の充実した図書館。子供連れでも気軽に利用でき、清潔な本が充実しているとより利用しやすい。
- ・ 建物が古くなったことを除けば現状に満足している。駅に近くて便利。職員の対応もいつも気持ちが良い。耐震対策は大丈夫なのか。子供も利用するの

で避難誘導もよろしくお願ひしたい。たまにはイベントとしてあゆころちゃんを呼んだら子供たちも集まるのではないか。

- ・ アンケートを見て図書館に行ってみた。紙の古い臭いがして気になる。本を手にとったがやっぱり古さを感じる。全体的に色味がなく暗いイメージ。ソファやイスの数を増やし手に取りやすい並べ方をしてほしい。絵本などは大人にも最近人気があるので多く揃えてほしい。学習スペースを広くして時間帯も長くしてもらいたいと子供の希望。
- ・ 図書館といふとなんとなく息苦しさをを感じる。静かにしなくてはとの思いはあるが利用者同士の出会いや交流を楽しむスペースが必要。
- ・ アミュ厚木の6階のフリースペースのような、学校が終わって塾に行くまでの時間に宿題をしたり、静かにする必要もなく自由に自分の時間を過ごせる空間。家でも学校、職場でもない、サードスペース的なものがあれば良いと思う。また、学校でわからないことを自由に気兼ねなく聞ける学習相談員が常駐しているコーナーみたいなものがあっても良いと思う。
- ・ 厚木市は子供、高齢者が多く、公園や遊べる場所は多いが本を読んだり勉強する場所が少ない。カフェで勉強したりする学生を多く見るがお店側としてはずっと居座られても困ると思うし、図書館や施設が充実すればそちらに足を運ぶのではないかと思う。
- ・ 図書館は個人で手に入れることができない資料を揃えて利用してもらおうところだと思う。学習したり、パソコン作業、利用者同士の交流は他の施設ですべき。資料を必要とし、会話や飲食可能なスペースは階を違えての設置も今の世の中には必要。厚木がロボット特区とか企業、様々な分野があるので科学と結びつけて将来を探るのも楽しいかもしれない。
- ・ 温度管理がなっていない。明るく勉強できる机、個々に利用できるスペースがほしい。
- ・ カフェなどが併設されたり、ソファやイスでゆったりできるスペースがあれば散歩かわりに行ってみたいと思う。
- ・ 民間委託型でのサービスは海老名でも行っているが、行政主導型だからこそできる細かなサービス、例えば厚木の郷土資料、歴史が展示併設しているなど大学の資料館。特に國學院大学が良い例になると思う。
- ・ 公園、文化会館、映画館、スポーツ施設と図書館も一緒にし、駅の近くでなくても良いので広い土地でリニューアルしてほしい。厚木には自然が沢山ある。
- ・ 地区の気分に配慮した図書館の整備。 地区センターを利用。
- ・ 現在の厚木市立図書館はバスセンターに隣接し、駅近なため通勤通学者には便利だと思う。複合ビルの中にあり、エレベーターや階段を使わなければならず外からは見えないため高齢者や小さな子供連れには不便で入り辛い。荻野運動公園やぼうさい公園など緑の中、駐車場のあるところに隣接した図書館があっても良いのではないか。
- ・ 今まで通りの図書館。
- ・ 今後も利用しないと思う。

2. 新たな中央図書館に望むことについてお伺いします

問2-1 平日、土日のそれぞれで中央図書館を利用したいと思う時間帯はいつですか？
(3つまで○)

	9時 ～11時	11時 ～13時	13時 ～15時	15時 ～17時	17時 ～19時	19時 ～20時	20時 ～21時
平日							
土日							

問2-2 今後、充実する必要がある資料は何だと思えますか？
(該当するものにいくつでも○)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 調査・研究のための専門書 | 2. 趣味・実用書・小説 |
| 3. ビジネスに関する図書 | 4. 医療に関する図書 |
| 5. 新聞・雑誌 | 6. 児童書・絵本 |
| 7. CD・映像資料 | 8. 電子書籍 |
| 9. データベース | 10. その他 () |

問2-3 今後充実する必要があるサービスや機能は何だと思えますか？
(該当するものにいくつでも○)

1. 調査・相談（職員に気軽に調べたいことについて相談し、情報や資料を得ることができる）
2. ホームページによる情報発信やメールによる手続き（リクエストや調査依頼）
3. 子ども向け行事
4. 大人向け行事
5. ビジネス・就労支援（関係する図書の充実、関係機関の案内、関係する情報取得のための支援等）
6. 体に障がいのある方へのサービス
7. Wifi などによるインターネット接続
8. 自身で予約した図書や館内の図書の貸出・返却ができるセルフ貸出・返却機
9. 有料宅配制度
10. 有料カフェ等の併設
11. ボランティアやサポーターの募集、活動
12. その他 ()

問2-4 今後、充実する必要があるスペースは何だと思いますか？

(該当するものにいくつでも○)

1. 電子情報を調べたり、調べ方を職員に相談したりするスペース
2. 静かに学習をしたり、パソコンで作業をしたりするスペース
3. ソファや椅子でゆったりとくつろいで読書をするスペース
4. 新聞や雑誌を読むスペース
5. 親子で読み聞かせをするなど、子ども連れで気軽に利用できるスペース
6. 科学館の展示物と図書が融合したスペース
7. 地域の歴史や文化を体感するスペース、展示スペース
8. 友人と会話をしながら調べ物や宿題をするスペース
9. 行政についての資料や情報があるスペース
10. 利用者同士での出会いや交流を楽しむスペース
11. 会話や飲食が可能なスペース
12. その他 ()

問2-5 「厚木らしい特色」ある図書館とは、どのような図書館をお考えになりますか？

ご意見をお聞かせください。(自由回答)

3 市民ワークショップ結果

3-1 参加者意見

表 28 サービスの利用主体別の意見

主体:誰が?	利用方法・形態:何をしたい?	必要な設備・サービス:何が必要?	グループ		
		内容	1	2	3
子どもと保護者	おとなしくできない幼児たちものびのびと絵本などを楽しめるようにしたい。	広々として独立したスペース			
		子どもが遊べるコーナー			
		乳幼児が遊べる道具			
		赤ちゃん向け読み聞かせイベント (ゴロゴロしながら)			
	読み聞かせ	保護者が子供に読み聞かせできるコーナーの設置			
	子育て中の母親は孤立しがちなので読書に関する支援やアドバイスがほしい。	保護者が本を選定する際の読書アドバイザー、支援人の設置			
		読み聞かせ向きの本の選定			
	親子(母子、父子)が離れる。子どもを預け、じっくりと本とふれあう。 (親や子が)交流したい。	保育士の参画			
		託児サービス			
	親子のふれあい、交流	情報交換の場			
	本とのはじめてのふれあい	ブックスタート			
	子どもにおやつを食べさせたい				
	その他	子どもが騒いでも良い場所			
		大人(保護者)の本と子どもの本は近い場所に配置する。			
読書通帳					
楽しい絵本					
綺麗な資料					
いい本					
綺麗でクリーンな人					
子どもの質問に応えられる人					
子どもにとって図書館はダサイと思われているのではないか。					
子どもの本も自分の本も両方借りたい	駐車場				
その他	駐車場の無料化				
児童・小学生	好きな本を読みたい。				
	データベースを使って多くの資料を調べたい。	データベースも含めた多くの資料			
	調べ学習をしたい。	勉強のアドバイスができる人			
		調べ物の相談にのる司書 他の施設との連携			
	好きなゲーム(学習に役立つもの)をしたい。				
	ゲームをしたい。	ゲームの攻略本			
	子ども同士で気軽に集いたい。				
その他	(子どもが)通える安全な立地				
	学校内で図書館の本が返却できる場所				
	DVD				
	おはなし会などをする人の確保 おはなし会などのシステムづくり				
中学生・高校生	新刊本が読みたい。	新しく、借りるのが恥ずかしくない綺麗な本			
	読書がしたい。	雑誌			
	調べたい、知りたい。	レファレンスができる専門のスタッフ			

主体:誰が?	利用方法・形態:何をしたい?	必要な設備・サービス:何が必要?	グループ			
		内容	1	2	3	
中学生・高校生	図書館の使い方を知りたい。	図書館の使い方レクチャー				
	勉強したい。	勉強のスペース				
		2人がけもしくは1人のテーブルや椅子 個室				
	受験勉強がしたい。	学生のためのスペース				
		学習室の設定(席数やコンセプトが重要項目)				
	居場所が欲しい。	明るい(雰囲気)飲食スペース オープンスペース				
雑談がしたい。	会話が出来る場所					
その他		自由に使えるデータベースなどインターネット環境				
		学校図書室と自動車文庫との連携				
大学生	勉強したい(レポートや卒論など)	卒論に関連する本				
		レファレンスの出来る司書				
	目的の本を検索したい。	カーリルソフトを見習う。				
	アーカイブで地域のことを調べたい。					
	資料の複写	どこよりも安いコピー機を設置				
	トークイベントを聞きたい。	カフェを併設したイベントスペース				
	ビブリオバトルに参加したい。					
	読書会に参加したい。					
グループディスカッションをしたい。	防音室					
その他		図書館の使い方レクチャー				
		大学と公共図書館との連携の仕組みが必要				
シルバー世代	好きな本を選びたい。	他館の本も借りたい。				
	暇つぶしをしたい。	新聞・雑誌の充実				
		カフェの設置				
	自己啓発(ニーズの多様化)	アクティブシニアの学びたいというニーズに応えられる人				
	パソコンやスマートフォンの使い方を 知りたい。					
	語学相互啓発(交流)					
	相互啓発(交流)	読書会などの交流の場				
	お年寄りの読書会に参加したい。	(読書会のための)スペース				
	本や新聞・雑誌を読み、図書館でゆったりとした時間を過ごしたい。		コーヒーなどを飲みながら読書できる店舗			
			(飲食できる)スペース			
	大学と連携したい(大学とのジョイント)					
その他		住民票の発行				
		自動販売機の設置				
		図書館行きのバス				
		宅配サービス				
		資料の検索など、パソコン教室の開催				
読み聞かせボランティア	打ち合わせ、交流会 運営	練習場所				
		ボランティアルーム				
ボランティア	読み聞かせのガイダンスやレファレンスを行いたい。	ボランティアさん向けの相談役 やる気やモチベーションを高める位置づけ				
		ボランティアさん向けの相談役 やる気やモチベーションを高める位置づけ				
	蔵書の修理などで各館を支援したい。		ボランティアさん向けの相談役 やる気やモチベーションを高める位置づけ			
			ボランティアさん向けの相談役 やる気やモチベーションを高める位置づけ			
障害のある人	自分で本を選びたい。	自分で本を選ぶためのガイド				
	自ら本を読みたい。	拡大読書機				
		デジター 大活字本				

主体:誰が?	利用方法・形態:何をしたい?	必要な設備・サービス:何が必要?	グループ		
		内容	1	2	3
障害のある人	色々な新聞や雑誌を読みたい。	拡大読書機			
		点字の新聞			
	その他	子どもや障害者が本を手に取りやすい低い書架			
		車いすが通れるスペース			
		施設全体のバリアフリー化 障害を補助するマシン、設備			
老眼で目が見えづらい人		音声資料			
外国人	図書館を利用したい。	多言語での案内			
遠方に住んでいる人	本を借りに図書館に行きたい、	有料の宅配サービス			
		コンビニで資料を受け取れる仕組み			
		駅に返却ボックスを設置			
		バリアフリーな施設			
	公民館図書室	全体的な本の入替 読み聞かせもできる人			
電車を利用する忙しい人	本を返したい。	駅に返却ボックスを設置			
通勤しており、帰りが遅い人 (来館が難しい人)	通勤時に読む本を確保したい。	自宅近くまで来てくれる車 (移動車の場所を多くする)			
	遅い時間にも図書館を利用したい。	コンビニで返却 郵便ポストで返却			
	その他	図書館からの発信(おたよりなど)			
研究グループ	調べ物がしたい。	資料の充実			
		検索システムの充実			
		資料整理のプロ			
専門書や質の高い本を読みたい人	自分では(高価で)買えない本を読みたい。	(図書館が資料を買うための)予算			
勉強したい人	資料を使って勉強したい。	学習室			
家の書架を整理したい人	自宅の本を整理したい。	本の分類について教えてほしい。			
(図書館を自分にとっての)本棚として利用する人	蔵書の質を高め、量を増やしてほしい。	電子書籍の取り扱い デジタルで本の貸出			
病気をかかえている人	病気について詳しく知りたい。	病気の相談コーナー			
		病気関連の本			
		ひっそりと一人で読めるコーナー			
起業したい人	起業関係の参考となるアドバイスをしてほしい	(起業に役立つ)イベントの開催			
	その他	座席(落ち着くように)			
人と交流したい人	本について話したい。	活用されるための仕掛け			
		朗読会			
		共読			
本を読まない人	雑談をしたい。	会話ができる場所			
	ゲームをしたい。	ゲームの攻略本			
(図書館を)音楽室として活用したい人	音楽を聞きたい。	リスニング室(視聴覚室)を気楽に活用できるように 古い(昔の音楽が再生できる)機器			
	CDと楽譜は近い場所にあって欲しい。				
	視聴覚ライブラリーで動画が見たい。				
行き場所の無い人	自分の価値を見つけない。	話を聞いてくれる人			
	充実したい。	本 読み聞かせ			
学校の先生	地域資料や学習資料を活用したい。	学校に貸出できる本を特別に設ける。			
	学校図書館と中央図書館のジョイントの在り方	学校を回ってくれる配本車			
		市職員、業者、先生との協議会の組織			

主体：誰が？	利用方法・形態：何をしたい？	必要な設備・サービス：何が必要？	グループ			
		内容	1	2	3	
学校の先生	図書館の活用について学びたい。					
	その他	学校図書館のハード面の整備				
		学校図書館のソフト面の整備				
		電算化				
本のネットワークを充実させてほしい。	運営する人にいい人を 学校図書館に司書を配置					
全般	ベストセラー本を早く読みたい。	ベストセラー本の蔵書を増やす。				
	多くの本を借りたい(何冊でもOKなど)。					
	(新聞などの)書評欄に載った本を早く読みたい。					
	読みたい本がわからない時の本との出会い	読書に繋がる講演会 本を並べる際の工夫				
	その他		専門書(建築など)(市民が求めるか?)			
			郷土資料			
			厚木ゆかりの蔵書コーナーの設置			
			レファレンスのできる司書			
	共読の仕組みを作ってほしい。	共読スペース				
	くつろぎたい、癒されたい。		カフェ			
			椅子やソファ			
			カフェ運営事業者の選択			
			静かで本があり、人が居るのに落ち着く空間			
	その他		飲食スペースの確保			
			カフェでの物品販売不必要			
			イベントの開催			
			貸出数より来館者数を重視する図書館に			
駐車場						
資料費						
図書館の大きな考え方を見直したい。		市の空き店舗を活用				
		(図書館が)活用されるための仕掛け				
		意見交換の場				
		節度ある新刊本の購入				
子どもがまちの将来を考える場所にしてほしい。		地区ごとの役割分担を明確にする。				
		地区ごとの強化分野を明らかにする。				
文化を育てる場となってほしい。						
本来の図書館らしい図書館を使いたい。						
時代の変化に対応してほしい						

3-2 当日写真

図4 各班のワークシート及び当日写真



4 参考事例集


稲城市立中央図書館	
所在地	東京都稲城市向陽台 4-6-18(城山公園内)
開館時間帯	午前9時～午後8時
規模	蔵書冊数:323,837 冊 延床面積:3,485 m ²
人口	86,169 人
特徴的なサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用者がインターネットで資料を予約すると、スタッフが外のロッカーに図書を納入。利用者にはロッカーの番号と暗証番号を通知。ビジネスパーソンなど、平日の開館時間に図書館を訪れることができない利用者へ図書を提供。



写真出典)稲城市立図書館(写真は中央図書館)HP

江戸川区立篠崎子ども図書館	
所在地	東京都江戸川区篠崎町 3-12-10
開館時間帯	午前9時～午後5時
規模	蔵書冊数:49,143 冊 延床面積:412 m ²
人口	676,116 人
特徴的なサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 見学や体験学習などの団体利用を施設全体で受け入れ。社会科・生活科見学の際に顕微鏡観察、化学実験、子ども図書館、太陽光パネル、屋上菜園等を通して見学・体験できるコースがあるほか、実験器具の使い方などを確認する教員の研修会なども受け入れ。 ● 子ども未来館との複合施設の一階に立地する子ども図書館で、二階の子ども未来館で行われる学習プログラム「子どもアカデミー」(体験入門講座、毎月の教室、月1回1年の連続ゼミ、ゼミ終了後のアドバンスコースと、段階に応じたプログラムを実施している)の活動を支援し、図鑑やテーマに関連する資料の収集と提供を実施。 ● 図書館では子ども未来館の施設設備を使用して、対象年齢別のおはなし会、工作会、かがくあそび等を毎月定例で開催。

えんぱーく内塩尻市立図書館

所在地	長野県塩尻市大門一番町 12-2	
開館時間帯	午前 10 時～午後 8 時(月・火・木・金) 午前 9 時 30 分～午後 6 時(土・日・祝)	
規模	蔵書冊数: 352,894 冊 延床面積: 3,286 m ²	
人口	67,961 人	
特徴的なサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 図書館、子育て支援・青少年支援、シニア活動支援、ビジネス支援、市民活動支援の 5 つの機能を持つ複合施設で、5 つの機能を融合して新たなサービスを提供するクロスオーバー事業(例: 知恵の交流を通じた人づくり講演会、理科読、読み聞かせ講演会、読み聞かせスキルアップ講座など)を実施。 	

写真出典) えんぱーくHP


葛飾区立中央図書館

所在地	東京都葛飾区金町 6-2-1 ヴィナシス金町ブライトコート 3 階
開館時間帯	午前 9 時～午後 10 時(月～土) 午前 9 時～午後 8 時(日・祝)
規模	蔵書冊数: 395,004 冊 延床面積: 5,078 m ²
人口	448,186 人
特徴的なサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動貸出機・返却機、自動予約棚、BDS を設置してセルフ貸出等を徹底。 ● ビジネス支援コーナー、医療・健康情報コーナーなどを設置。


川崎市立中原図書館

所在地	神奈川県川崎市中原区小杉町 3-1301
開館時間帯	午前 9 時 30 分～午後 9 時(月～金) 午前 9 時 30 分～午後 5 時(土・日・祝)
規模	蔵書冊数: 360,946 冊 延床面積: 4,497 m ²
人口	1,433,765 人
特徴的なサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 自動書庫、自動貸出機、自動予約棚、BDS を設置。無線 LAN 対応。 ● かわさきコーナー、科学のまちコーナー、ビジネス支援コーナーなどを設置。

北区立中央図書館

所在地	東京都北区十条台 1-2-5	
開館時間帯	午前9時～午後8時(月～土) 午前9時～午後5時(日・祝)	
規模	蔵書冊数:1,298,446冊 延床面積:6,165㎡	
人口	334,723人	
特徴的なサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域資料を集めた「北区の部屋」を設置しているほか、月替わりの展示コーナーでも地域の情報を発信。地域資料に関連した相談に応じる専門員も配置。「北区の歴史はじめの一步」などの冊子も発行。 	

岐阜市立中央図書館

所在地	岐阜県岐阜市司町 40-5(みんなの森ぎふメディアコスモス内)	
開館時間帯	午前9時～午後8時	
規模	蔵書冊数:約 300,000冊 延床面積:約 15,000㎡	
人口	416,625人	
特徴的なサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 展示グローブにおいて、イベントや時事のテーマに合わせた本の紹介や展示を実施。グローブの中心に「みんなのライブラリー」を常設し、市民によるおすすめ本を紹介。 ● ボランティアと12歳から18歳の青少年サポーターからなる図書館サポーターを組織。ボランティアは、読み聞かせや資料整理など、青少年サポーターは、中高生向けおすすめ本リストの作成などに協力。 	

写真出典)みんなの森ぎふメディアコスモスHP

熊本市立くまもと森都心プラザ図書館

図書館名	熊本県熊本市立くまもと森都心プラザ図書館
所在地	熊本県熊本市春日町 14-1
開館時間帯	午前9時30分～午後8時(月～土) 午前9時30分～午後6時(日・祝)
規模	蔵書冊数 298,941冊 延床面積:3,488㎡
人口	734,287人
特徴的なサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● データ配信型のAVコーナー(視聴覚資料閲覧ブース)を配置。 ● PCコーナー(インターネット・商用DB閲覧)。 ● 無線LANサービス、レファレンスサービス、レフェラルサービス。 ● ビジネス支援センター(雇用促進事業会)が併設。 ● 熊本市在住の芸術家達と「アートを図書館に」という事業を展開。

苫小牧市立中央図書館

所在地	北海道苫小牧市末広町 3-1-15
開館時間帯	午前9時30分～午後8時(火～日)
規模	蔵書冊数:503,993冊 延床面積:4,419㎡
人口	174,469人
特徴的なサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 館内のデジタルサービス拠点として「電子情報サロン」を設置し、「ICTコンシェルジュ」を配置。デジタルサービスの利用にサポートを必要とする利用者を人的に支援。無線LANを整備しており、利用者端末によるインターネットアクセスが可能。、ipadの設置と貸出も実施。電子図書館サービスとデジタルアーカイブシステムも導入しており、地域ゆかりの鳥獣採集家の記録や手稿をインターネットで公開。


札幌市中央図書館

所在地	北海道札幌市中央区南22条西13-1-1
開館時間帯	午前9時15分～午後8時(月～金) 午前9時15分～午後5時(土・日・祝)
規模	蔵書冊数:1,836,352冊 延床面積:9,049㎡
人口	1,930,496人
特徴的なサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 図書館を会場とするサイエンスターリングを実施。参加者は図書館で使用されている図書ラベルや図書分類法や資料の設置場所などの説明を受けた後、講師とテーマに関する図書(例:恐竜)を探し、クイズに挑戦。クイズの最後には各自が恐竜の歯のレプリカを比較するとともに、講師から恐竜について詳しく解説。




写真出典) 科学技術振興機構 HP

墨田区立ひきふね図書館

所在地	東京都墨田区京島 1-36-5	
開館時間帯	午前9時～午後9時(月～土) こどもとしょじつは午後6時まで 午前9時～午後5時(日・祝)	
規模	蔵書冊数:281,350冊 延床面積:3,393 m ²	
人口	254,627人	
特徴的なサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 墨田区教育委員会が主催する「墨田区 図書館を使った調べる学習コンクール®」とすみだ水族館が連携した地域学習の取り組み。すみだ水族館のスタッフが調べる学習のきっかけとなる講義を行い、実際に水族館の生き物を観察することで、子どもたちの生き物への興味関心を高め、図書館を利用した調べる学習を促進。 	

徳島市立図書館

所在地	徳島県徳島市元町1-24(アミコビル内)	
開館時間帯	午前9時～午後9時	
規模	蔵書冊数:399,463冊 延床面積:3,440 m ²	
人口	257,718人	
特徴的なサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● インターネットから貸出・返却可能な電子書籍の提供。シャーロックホームズやトム・ソーヤーの冒険などの名作のほか料理や健康関連の実用書や徳島市出身の作家の著作など約980タイトルを配信。 ● その他、インターネットを通じて、自宅のパソコン等でクラシックやジャズ、民族音楽など、CD約101,000枚を配信。 	

千代田区立千代田図書館

所在地	東京都千代田区九段南 1-2-1 千代田区役所 9階・10階
開館時間帯	午前10時～午後10時(月～金) 午前10時～午後7時(土) 午前10時～午後5時(日・祝)
規模	蔵書冊数:171,196冊 延床面積:2,616 m ²
人口	54,160人
特徴的なサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 充実したビジネス環境(200席の閲覧席の内、82席は電源と有線LANが利用可、館内では無線LANに接続可)。 ● 電子図書館サービス(千代田 Web 図書館)。 ● コンシェルジュの配置(千代田区の案内も)。 ● 様々なイベント開催。

函館市中央図書館

所在地	北海道函館市五稜郭町 26-1
開館時間帯	午前9時30分～午後8時
規模	蔵書冊数:684,525冊 延床面積:7,687㎡
人口	274,485人
特徴的なサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 中央図書館のイベントとして「親子で図書館へ お話し会と工作」を開催。親子を対象に読み聞かせや新幹線の工作、手あそびを実施。

ひと・まち・情報創造館武蔵野プレイス

所在地	東京都武蔵野市境南町 2-3-18
開館時間帯	午前9時30分～午後10時
規模	蔵書冊数:167,711冊 延床面積:9,810㎡
人口	140,527人
特徴的なサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもとも大人とも違う10代の関心に応えるための図書や雑誌と芸術系の図書とをアート&ティーンズライブラリーとして提供。若者の居場所としてのラウンジ、スタジオなどを図書館機能と併せて提供。 ● ボランティアである「プレイス・サポーター」が『プレイス・フェスタ』や『Music Place』といった事業の運営に協力。



写真出典)武蔵野プレイスHP

八千代市立中央図書館

所在地	千葉県八千代市村上 2510
開館時間帯	午前10時～午後7時(火～金) 午前9時～午後6時(土・日・祝)
規模	蔵書冊数:約150,000冊 延床面積:6,270㎡(図書館部分4,000㎡)
人口	193,315人
特徴的なサービス	<ul style="list-style-type: none"> ● 1人で静かに過ごしたい利用者や市民同士で交流したい利用者などのニーズに対応するため、バリエーションを持たせた閲覧席を配置。書架近くでの資料の閲覧が可能な席や、他の利用者の存在を感じる事の出来る席、静かな環境で資料閲覧が可能な窓際のカウンター席などを配置。



厚木市図書館基本構想

平成29年 4 月

発行 厚木市教育委員会

編集 社会教育部中央図書館

〒243-0018 厚木市中町 1 丁目 1 番 3 号

電話 (046) 223-0033
